

Dell™ 4610X WIRELESS PLUS

プロジェクタ

ユーザーズガイド

メモ、注意、警告

-  **メモ**：「メモ」は、プロジェクタの使用に際して役立つ重要な情報です。
-  **注意**：「注意」は、ハードウェアの破損やデータの損失を防ぐ方法について記載しています。
-  **警告**：「警告」は、物的損害、人的傷害、もしくは死につながる潜在性を意味します。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2010 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. 社の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、本書を複製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標：Dell および DELL ロゴは Dell Inc. の商標です。DLP および DLP ロゴは TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED の商標です。Microsoft および Windows は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

モデル 4610X WIRELESS PLUS

2010 年 5 月 改訂 A01

目次

1	プロジェクタについて	6
	プロジェクタについて	7
2	プロジェクタの接続	9
	アンテナの取り付け	10
	コンピュータへの接続	11
	VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続	11
	VGA ケーブルを使用してループする一接続を モニターしてください	12
	RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続	13
	ワイヤレスを使ったコンピュータの接続	14
	DVD プレーヤーの接続	15
	S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの 接続	15
	コンポジットビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続	16
	コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの 接続	17
	HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの 接続	18
	LAN (構内通信網) への接続	19
	画像を投射し、RJ45 ケーブルを通して ネットワークに接続されたプロジェクタを 制御します	19
	プロフェッショナル向け取り付けオプション： ドライビング自動スクリーンの取り付け	20

商用 RS232 コントロールボックスの接続	21
3 プロジェクタの使用方法	22
プロジェクトの電源を入れる	22
プロジェクトの電源を切る	22
投影画像の調整	23
プロジェクトの高さを上げる	23
プロジェクトの高さを下げる	23
プロジェクトのズームとフォーカスの調整	24
投影画像サイズの調整	25
コントロールパネルの使用方法	27
リモコンの使用方法	29
リモートコントロールバッテリーの取り付け	32
リモコンの動作範囲	33
オンスクリーンディスプレイの使用方法	34
メインメニュー	34
自動調整	34
入力選択	35
ピクチャ (PC モード)	36
ピクチャ (ビデオモード)	37
表示 (PC モード)	38
表示 (ビデオモード)	40
ランプ	41
設定	41
情報	44
その他	44

ワイヤレスネットワーキングのインストール	51
4610X WIRELESS PLUS ワイヤレス アプリケーションソフトウェア	55
Web 管理からプロジェクタの管理	59
セットワーク設定の設定	59
Web 管理にアクセスする	59
アプリケーショントークンの作成	78
4 プロジェクタのトラブルシューティング	79
ガイド信号	83
ランプの交換	85
5 仕様	87
6 Dell へのお問い合わせ	92
7 付録：用語集	93

プロジェクタについて

このプロジェクタには次のものが付属しています。すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一、不足の品がありましたら、Dell™ までご連絡ください。

同梱されているもの

電源ケーブル



1.8m VGA ケーブル (VGA - VGA)



アンテナ



リモコン



CD ユーザーガイドおよびドキュメント キャリーケース



単 4 電池 (2)

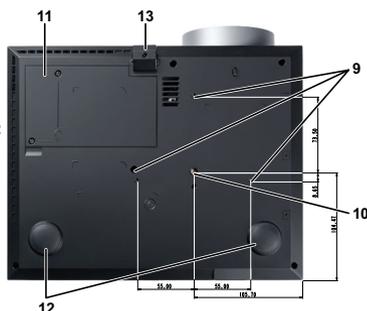


プロジェクタについて

上方図



底面図



1	コントロールパネル
2	ズームタブ
3	フォーカスリング
4	レンズ
5	エレベータボタン（高さ調整用）
6	IR レシーバ
7	レンズキャップ
8	アンテナ
9	取付ホール（天吊り用）ねじ穴 M3 x 6.5mm 深度。推奨トルク <8kgf-cm
10	取付ホール（三脚用）：インサートナット 1/4"*20 UNC
11	ランプカバー
12	傾斜調整ホイール
13	エレベーターフット

⚠ 警告：安全上のご注意

- 1 プロジェクタ機器は熱を発するものの近くでは使用しないでください。
- 2 プロジェクタはほこりの多い場所では使用しないでください。ほこりが原因でシステムが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることがあります。
- 3 プロジェクタはよく換気された場所に設置してください。

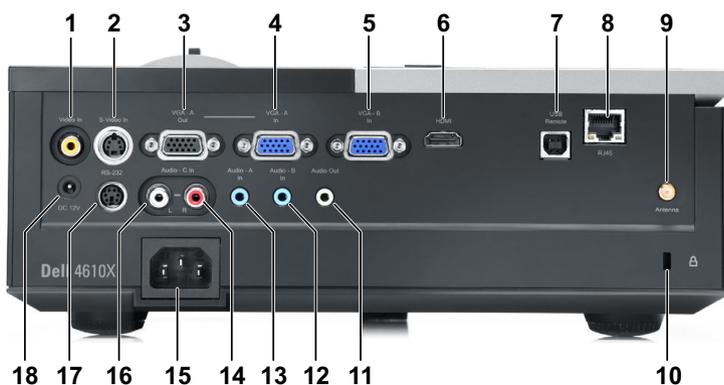
- 4 プロジェクタにある通気口や開口部を塞がないでください。
- 5 プロジェクタは 5°C ~ 35°C の周囲温度で操作します。
- 6 プロジェクタの電源をオンにした後、またはオフにした直後は、換気口がきわめて高温になっているため、触れないようにしてください。
- 7 プロジェクタがオンになっている間レンズをのぞき込まないでください。目を損傷する原因となります。
- 8 プロジェクタがオンになっている間、プロジェクタの前に物体を置かないでください。熱で物体が溶けたり燃える原因となります。
- 9 心臓ペースメーカーの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。
- 10 医療機器の傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。
- 11 電子レンジの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。

メモ:

- お客様自身でこのプロジェクタの天井取り付けを試みないでください。取り付けは、専門の取り付け業者に依頼してください。
- 推奨されるプロジェクタ天井取り付けキット (P/N: C3505)。詳細については、Dell サポート Web サイト (support.dell.com) を参照してください。
- 詳細については、プロジェクタに付属する **安全情報** を参照してください。

2

プロジェクタの接続



1	コンポジットビデオコネクタ	10	セキュリティケーブルスロット
2	Sビデオコネクタ	11	オーディオ出力コネクタ
3	VGA-A 出力 (モニターループスルー)	12	オーディオ-B 入力コネクタ
4	VGA-A 入力 (D サブ) コネク タ	13	オーディオ-A 入力コネク タ
5	VGA-B 入力 (D サブ) コネク タ	14	オーディオ-C 右チャンネル入 力コネクタ
6	HDMI コネクタ	15	電源コードコネクタ
7	USB リモートコネクタ	16	オーディオ-C 左チャンネル入 力コネクタ
8	RJ45 コネクタ	17	RS232 コネクタ
9	アンテナコネクタ	18	+12V DC アウトコネクタ

⚠ 警告: この章で説明する交換処理の前に、ページ 7にある「安全上のご注意」をお読みください。

アンテナの取り付け

プロジェクタには、ワイヤレスネットワーキング用のワイヤレスアンテナが付属しています。51 ページの「ワイヤレスネットワーキングのインストール」を参照してください。

- 1 アンテナをプロジェクタ背面にあるアンテナコネクタにねじで取り付けます。



- 2 アンテナを図で示す位置まで引き起こします。



コンピュータへの接続

VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続



1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル
3	USB-A - USB-B ケーブル

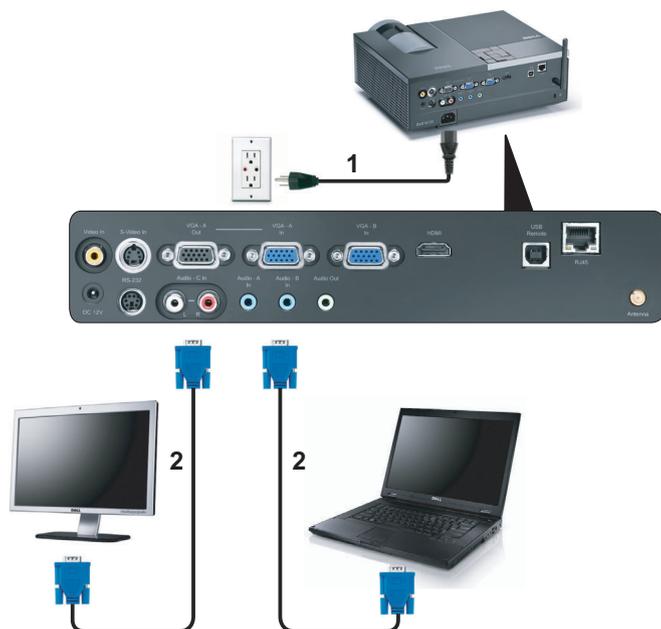


メモ : USB ケーブルは付属していません。



メモ : リモコンで「次のページ」機能と「前のページ」機能を使用する場合は、USB ケーブルを接続する必要があります。

VGA ケーブルを使用してループする一接続をモニタしてください



1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル

メモ: プロジェクタには VGA ケーブル 1 本のみが付属しています。追加の VGA ケーブルは、Dell Web サイト (dell.com) でご購入いただけます。

RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続



1	電源コード
2	RS232 ケーブル

メモ : RS232 ケーブルは付属していません。ケーブルと RS232 リモコンソフトウェアについては専門のインストール業者までお問い合わせください。

ワイヤレスを使ったコンピュータの接続



-  **メモ:** コンピュータにはワイヤレス機能が搭載されており、ワイヤレス接続を検出できるように適切に設定されている必要があります。ワイヤレス接続の設定方法については、コンピュータのマニュアルを参照してください。

DVD プレーヤーの接続

S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



1	電源コード
2	S ビデオケーブル

メモ : S ビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト (dell.com) で S ビデオ延長 (1,524.00 cm/3,048.00 cm) ケーブルをお買い求めいただけます。

コンポジットビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

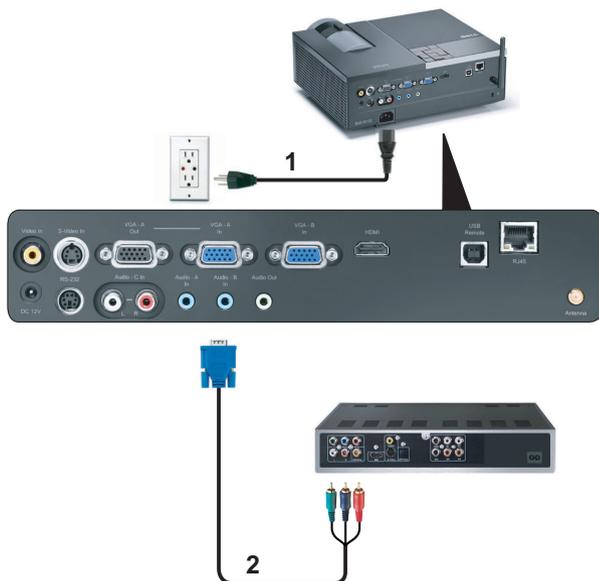


1	電源コード
2	コンポジットビデオケーブル



メモ: コンポジットビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト (dell.com) でコンポジットビデオ延長 (1,524.00 cm/3,048.00 cm) ケーブルをお買い求めいただけます。

コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



1	電源コード
2	VGA - コンポーネントビデオケーブル



メモ : VGA - コンポーネントビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト (dell.com) で VGA - コンポーネントビデオ延長 (1,524.00 cm/3,048.00 cm) ケーブルをお買い求めいただけます。

HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

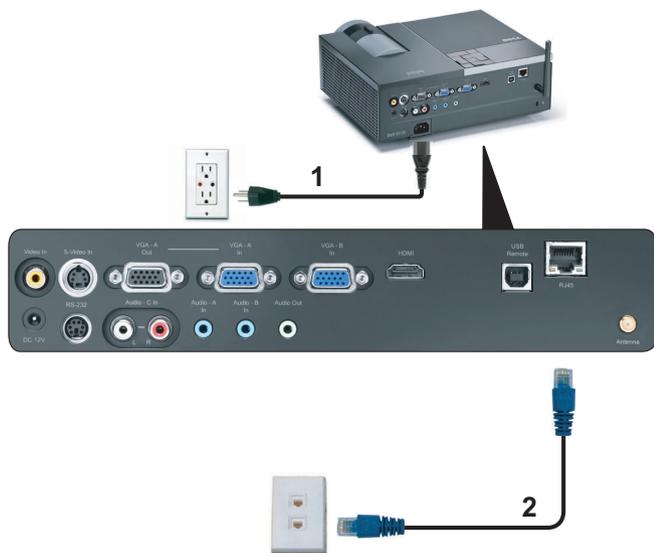


1	電源コード
2	HDMI ケーブル

 **メモ** : HDMI ケーブルは付属していません。

LAN (構内通信網) への接続

画像を投射し、RJ45 ケーブルを通してネットワークに接続されたプロジェクタを制御します



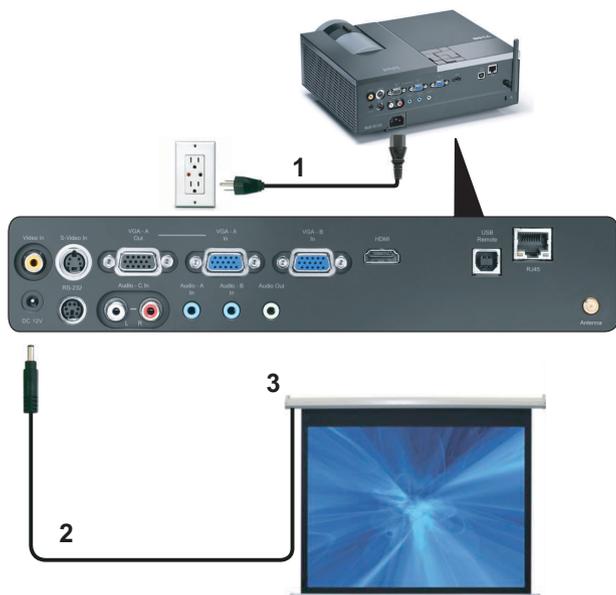
LAN (構内通信網)

1	電源コード
2	RJ45 ケーブル



メモ : RJ45 ケーブルは付属していません。

プロフェッショナル向け取り付けオプション：ドライビング 自動スクリーンの取り付け



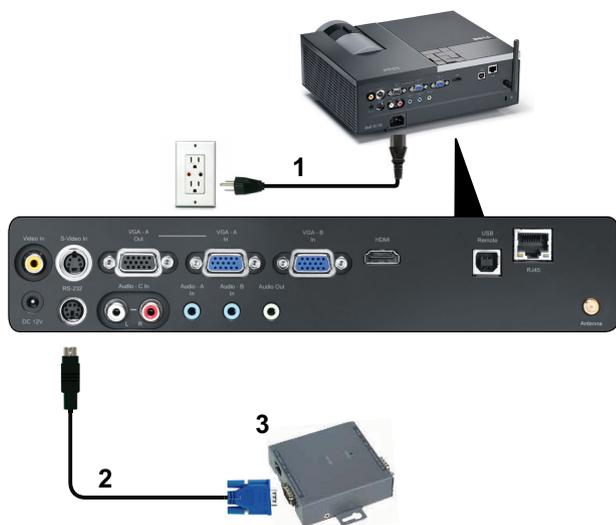
1	電源コード
2	12V DC プラグ
3	自動スクリーン

メモ：1.7 mm (ID) x 4.00 mm (DD) x 9.5 mm (シャフト) の寸法の 12V DC プラグを使って、自動スクリーンをプロジェクタに接続します。

12V DC プラグ



商用 RS232 コントロールボックスの接続



1	電源コード
2	RS232 ケーブル
3	商用 RS232 コントロールボックス



メモ：RS232 ケーブルは付属していません。ケーブルの入手については、専門技術者にお問い合わせください。

プロジェクタの使用方法

プロジェクタの電源を入れる

 **メモ:** プロジェクタの電源をオンにしてから、ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源をオンにしてください。電源ボタンを押すまで、ボタンは青色で点滅します。

- 1 レンズキャップを外します。
- 2 電源コードと適切な信号ケーブルを接続します。プロジェクタの接続については、9 ページの「プロジェクタの接続」を参照してください。
- 3 電源ボタンを押します（電源ボタンの位置については、27 ページの「コントロールパネルの使用方法」を参照してください）。
- 4 ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源を入れます。
- 5 適切なケーブルを使用して、プロジェクタにソースを接続します。プロジェクタにソースを接続する方法については、9 ページの「プロジェクタの接続」を参照してください。
- 6 デフォルトで、入力ソースはVGA-A に設定されています。必要に応じて、プロジェクタの入力ソースを変更してください。
- 7 プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルのソースボタンを押して、希望するソースを選択します。ソースボタンを確認するには、27 ページの「コントロールパネルの使用方法」と 29 ページの「リモコンの使用方法」を参照してください。

プロジェクタの電源を切る

 **注意:** プロジェクタの接続を外す前に、次に説明する手順に従って正しくシャットダウンします。

- 1 電源ボタンを押します。

 **メモ:** 「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします」というメッセージが画面に表示されます。メッセージは 5 秒後に消えるのを待つか、メニューボタンを押してメッセージを消去します。

- 2 電源ボタンをもう一度押します。冷却ファンが 120 秒間作動します。
- 3 時間を掛けずにプロジェクタの電源を切るには、プロジェクタの冷却ファンが作動中に電源ボタンを 1 秒間押し続けます。

メモ：プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで60秒待ちます。

4 コンセントとプロジェクタから電源ケーブルの接続を外します。

投影画像の調整

プロジェクタの高さを上げる

- 1 エレベーターボタンを押します。
- 2 プロジェクタを任意の高さまで上げ、ボタンを離してエレベーターフットを固定します。
- 3 傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

プロジェクタの高さを下げる

- 1 エレベーターボタンを押します。
- 2 プロジェクタを下げ、ボタンを離してエレベーターフットを固定します。



1	エレベーターボタン
2	エレベーターフット (傾きの角度: 0 ~ 9.5 度)
3	傾斜調整ホイール

プロジェクタのズームとフォーカスの調整

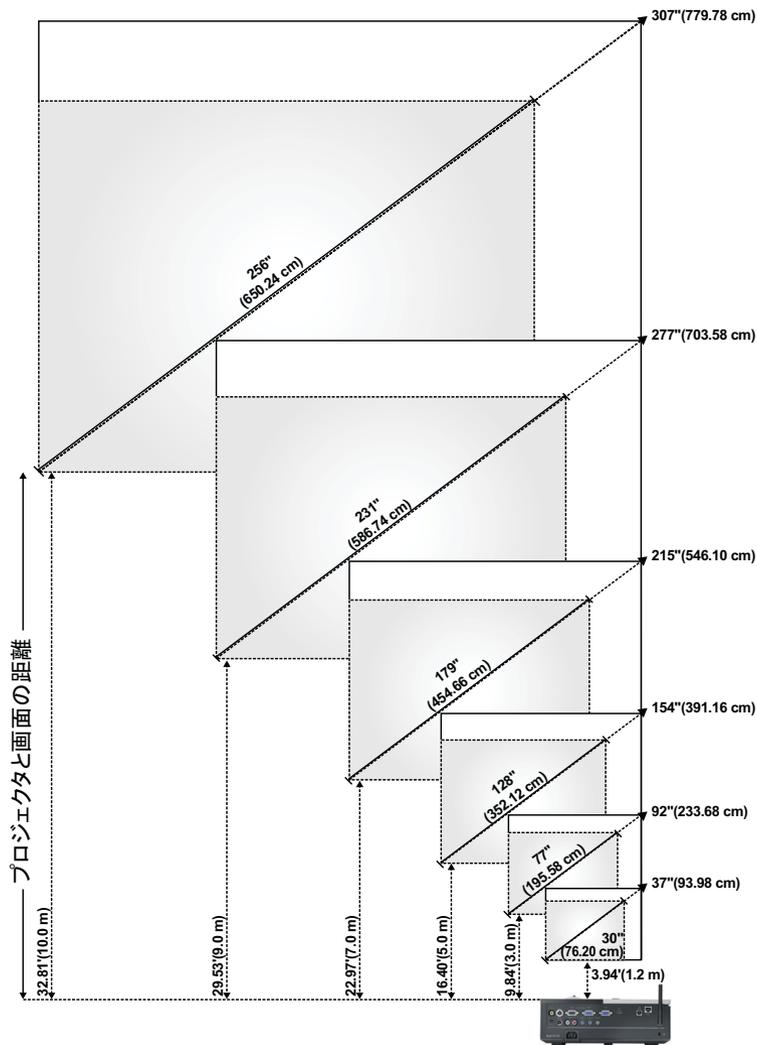
⚠ 警告: プロジェクタを移動したり、キャリーケースに収納する場合には、ズームレンズとエレベーターフットが完全に引っ込んでいることを確認して、プロジェクタが破損しないようにします。

- 1 ズームタブを回して拡大または縮小します。
- 2 画像が鮮明になるまでフォーカスリングを回します。プロジェクタで焦点が合う距離は 120.09 cm ~ 1,000.05 cm (1.2 m ~ 10 m) です。



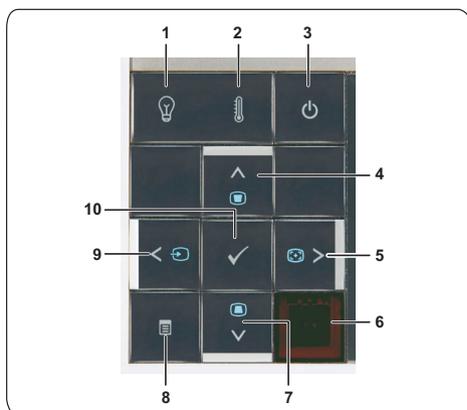
1	ズームタブ
2	フォーカスリング

投影画像サイズの調整



画面 (対角線)	最大	37" (93.98 cm)	92" (233.68 cm)	154" (391.16 cm)	215" (546.10 cm)	277" (703.58 cm)	307" (779.78 cm)
	最小	30" (76.20 cm)	77" (195.58 cm)	128" (352.12 cm)	179" (454.66 cm)	231" (586.74 cm)	256" (650.24 cm)
画面 サイズ	最大 (幅 x 高)	29.53" X 22.05"	74.02" X 55.51"	123.23" X 92.13"	172.44" X 129.13"	221.65" X 166.14"	246.06" X 184.65"
		(75 cm X 56 cm)	(188 cm X 141 cm)	(313 cm X 234 cm)	(438 cm X 328 cm)	(563 cm X 422 cm)	(625 cm X 469 cm)
	最小 (幅 x 高)	24.8" X 18.5"	61.42" X 46.06"	102.36" X 76.77"	143.70" X 107.48"	184.65" X 138.58"	205.12" X 153.94"
		(63 cm X 47 cm)	(156 cm X 117 cm)	(260 cm X 195 cm)	(365 cm X 273 cm)	(469 cm X 352 cm)	(521 cm X 391 cm)
Hd	最大	25.59" (65 cm)	63.78" (162 cm)	106.30" (270 cm)	148.43" (377 cm)	190.94" (485 cm)	212.20" (539 cm)
	最小	21.26" (54 cm)	53.15" (135 cm)	88.58" (225 cm)	123.62" (314 cm)	159.06" (404 cm)	176.77" (449 cm)
投影距離		3.94' (1.2 m)	9.8' (3.0 m)	16.4' (5.0 m)	23.0' (7.0 m)	29.5' (9.0 m)	32.81' (10.0 m)
* この表はユーザーの参照用です。							

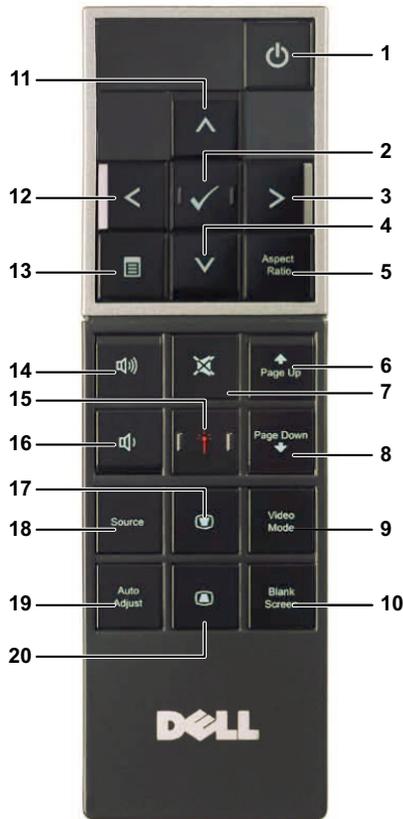
コントロールパネルの使用方法



-
- | | | |
|-------|----------|--|
| 1 | ランプ警告ライト | <p>LAMP の黄色のインジケータが点灯または点滅している場合、次の問題のどれかが原因とされます。</p> <ul style="list-style-type: none">• ランプがその耐用年数の終わりに達した• ランプモジュールを適切に取り付けていない• ランプドライバが故障している• カラーホイールが故障している <p>詳しくは、79 ページの「プロジェクタのトラブルシューティング」および 83 ページの「ガイド信号」を参照してください。</p> |
| <hr/> | | |
| 2 | 温度警告ライト | <p>TEMP の黄色のインジケータが点灯または点滅している場合、次の問題のどれかが原因とされます。</p> <ul style="list-style-type: none">• プロジェクタの内部温度が高すぎる• カラーホイールが故障している <p>詳しくは、79 ページの「プロジェクタのトラブルシューティング」および 83 ページの「ガイド信号」を参照してください。</p> |
| <hr/> | | |
| 3 | 電源 | <p>プロジェクタの電源のオン/オフを切り替えます。詳しくは、22 ページの「プロジェクタの電源を入れる」および 22 ページの「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。</p> |
-

4	上  / キーストーン調整	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。
5	右  / 自動調整	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。  メモ: オンスクリーンディスプレイ (OSD) が表示されている場合は、 自動調整 は作動しません。
6	IR レシーバ	リモコンを IR レシーバに向けてボタンを押します。
7	ダウン  / キーストーン調整	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。
8	メニュー 	このボタンを押して OSD を起動します。方向キーと メニュー ボタンで OSD をナビゲートします。
9	左  / ソース	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 複数ソースがプロジェクタに接続されている場合には、このボタンを押して、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント (YPbPr、VGA 経由)、HDMI、S ビデオソースを切り替えます。
10	エンター 	このボタンを押して選択項目を確定します。

リモコンの使用方法



1	電源 	プロジェクトの電源のオン/オフを切り替えます。詳しくは、22 ページの「プロジェクトの電源を入れる」および22 ページの「プロジェクトの電源を切る」を参照してください。
2	エンター 	このボタンを押して選択を確定します。
3	右 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。

4	ダウン 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
5	縦横比	このボタンを押して、表示された画像のアスペクト比を変更します。
6	ページ上 	このボタンを押して前のページへ移動します。  メモ: ページ上機能を使用する場合、USB ケーブルを接続する必要があります。
7	消音 	このボタンを押して、プロジェクタのスピーカーを消音にしたり消音を解除します。
8	ページ下 	このボタンを押して次のページへ移動します。  メモ: ページ下機能を使用する場合、USB ケーブルを接続する必要があります。
9	ビデオモード	プロジェクタには、データ (プレゼンテーションスライド) やビデオ (映画、ゲームなど) の表示に最適なプリセット設定があります。 ビデオモード ボタンを押して プレゼンテーションモード 、 ブライトモード 、 映画モード 、 sRGB 、または カスタムモード を切り替えます。 ビデオモード ボタンを 1 回押すと、現在の表示モードが表示されます。もう一度 ビデオモード ボタンを押すと、モードが切り替わります。
10	ブランク画面	このボタンを押して、画像を表示したり非表示にします。
11	上 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
12	左 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
13	メニュー 	このボタンを押して OSD を起動します。

14	音量アップ 	このボタンを押して音量を上げます。
15	レーザー 	リモコンを画面に向け、レーザーボタンを押し続けてレーザーライトを起動します。
 警告: レーザーがオンになっている間、レーザーポイントをのぞき込まないでください。レーザー光線を自分の目に向けしないでください。		
16	音量ダウン 	このボタンを押して音量を下げます。
17	キーストーン調整 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。
18	ソース	このボタンを押して、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント (YPbPr、VGA 経由)、HDMI、S ビデオソースを切り替えます。
19	自動調整	このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。OSD が表示されている場合は、自動調整は動作しません。
20	キーストーン調整 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。

リモートコントロールバッテリーの取り付け

 **メモ**：使用していないときは、リモコンからバッテリーを取り外してください。

1 タブを押してバッテリー収納部のカバーを持ち上げます。



2 バッテリーの極性 (+/-) のマークをチェックします。



3 バッテリー収納部のマークに従って極性が合うように、バッテリーを挿入します。

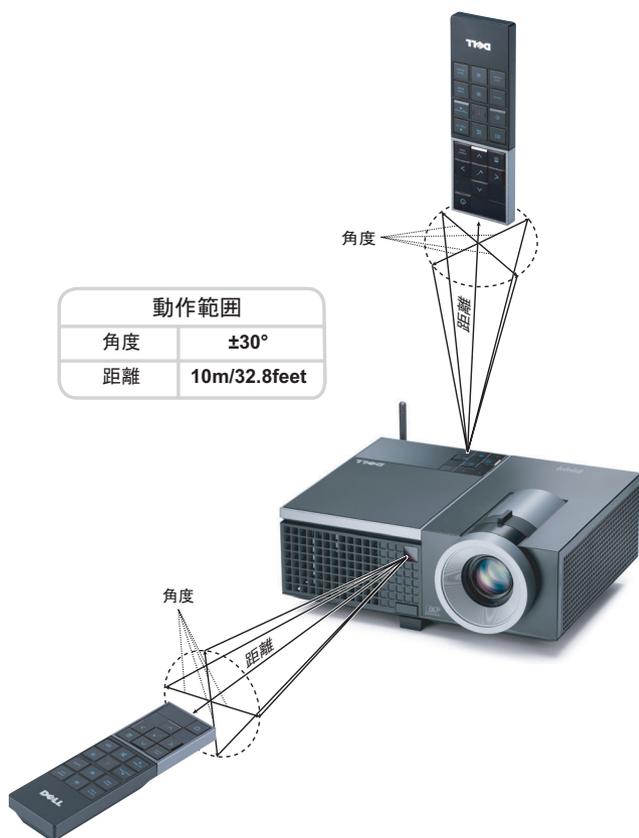


 **メモ**：異なる種類のバッテリーを混合したり、新しいものと古いものを一緒に使用することを避けてください。

4 バッテリーカバーを元に戻します。



リモコンの動作範囲



 **メモ**：実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。バッテリー残量が少ない場合も、リモコンで 프로젝タを適切に操作できない原因となります。

オンスクリーンディスプレイの使用方法

- プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
- メインメニューのタブの間を移動するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの  ボタンまたは  ボタンを押します。
- サブメニューを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの  ボタンを押します。
- オプションを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの  または  ボタンを押します。色が濃い青色になります。項目を選択すると、色が濃い青色になります。
- コントロールパネルまたはリモコンの  または  ボタンを使って設定を調整します。
- メインメニューに戻るには、「戻る」タブに進み、コントロールパネルまたはリモコンの  ボタンを押します。
- OSDを終了するには、「終了」タブに進み、 ボタンを押すか、または、コントロールパネルまたはリモコンの **メニュー** ボタンを押します。

メインメニュー



自動調整

自動調整を使って、PC モードでプロジェクタの周波数とトラッキングを自動的に調整します。自動調整が進行中、次のメッセージが画面に表示されます：

お待ちください

入力選択

入力選択メニューを使ってプロジェクトの入力ソースを選択します。



自動ソース—オフ（デフォルト）を選択して、現在の入力信号をロックします。**自動ソースモード**を**オフ**に設定した状態で**ソース**ボタンを押すと、入力信号を手動で選択できます。**オン**を選択すると、使用可能な入力信号を自動検出します。プロジェクトの電源が入った状態で**ソース**ボタンを押すと、次の使用可能な入力信号を自動検出します。

VGA-A—を押して VGA-A 信号を検出します。

VGA-B—を押して VGA-B 信号を検出します。

S ビデオ—を押して S ビデオ信号を検出します。

コンポジットビデオ—を押してコンポジットビデオ信号を検出します。

HDMI—を押して HDMI 信号を検出します。

ワイヤレス/ネットワーク—ワイヤレスとネットワークを**オン**にする必要があります。ページ 43 をご覧ください。を押してプロジェクトのワイヤレスガイド画面にアクセスします。

アドバンス—を押して入力選択の詳細設定メニューを起動します。

入力選択の詳細設定

[入力選択の詳細] により、入力ソースの有効/無効を切り替えることができます。



VGA-A— および を使用して、VGA-A 入力の有効/無効を切り替えます。

VGA-B— および を使用して、VGA-B 入力の有効 / 無効を切り替えます。

S ビデオ— および を使用して、S ビデオ入力の有効 / 無効を切り替えます。

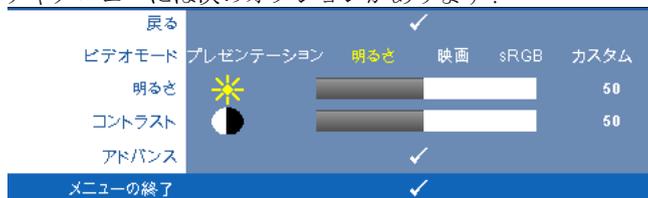
コンポジットビデオ— および を使用して、コンポジットビデオ入力の有効 / 無効を切り替えます。

HDMI— および を使用して、HDMI 入力の有効 / 無効を切り替えます。

 **メモ**：現在の入力ソースを無効にすることはできません。常に、2 つ以上の入力ソースを有効にする必要があります。

ピクチャ (PC モード)

ピクチャメニューを使って、プロジェクトの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります：



ビデオモード—ディスプレイの画像を最適化します：**プレゼンテーション**、**明るさ**、**映画**、**sRGB** (より精密な色を提供します)、**カスタム** (お好みの設定を設定します)。

 **メモ**：明るさ、コントラスト、彩度、鮮明度、色合い、アドバンスに対して設定を調整すると、プロジェクトは**カスタム**に自動的に切り替わります。

明るさ— や を使って画像の明るさを調整します。

コントラスト— や を使ってディスプレイのコントラストを調整します。

アドバンス— を押して**ピクチャ拡張**メニューを起動します。38 ページの「高度なピクチャ」をご覧ください。

ピクチャ（ビデオモード）

ピクチャメニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります：



ビデオモード—ディスプレイの画像を最適化します：プレゼンテーション、明るさ、映画、sRGB（より精密な色を提供します）、カスタム（お好みの設定を設定します）。

 **メモ**：明るさ、コントラスト、彩度、鮮明度、色合い、アドバンスに対して設定を調整すると、プロジェクタはカスタムに自動的に切り替わります。

明るさ—やを使って画像の明るさを調整します。

コントラスト—やを使ってディスプレイのコントラストを調整します。

彩度—ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。を押して画像の色の量を減らし、を押して色の量を増やします。

鮮明度—を押して鮮明度を下げ、を押して鮮明度を上げます。

色合い—を押して画像の緑色の量を増やし、を押して赤色の量を増やします（NTSC用にのみ使用可能）。

アドバンス—を押してピクチャ拡張メニューを起動します。以下の「高度なピクチャ」をご覧ください。

 **メモ**：彩度、鮮明度、色合いは、入力ソースがコンポジットやSビデオから出ている場合のみ使用可能です。

高度なピクチャ

[高度なピクチャ]メニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。[高度なピクチャ]メニューには次のオプションがあります。



白の強度 — と を使ってディスプレイの白の強度を調整します。

色温度 — 色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが起動します。値はカスタムモードで保存されます。

カスタムカラー調節 — 赤、緑、青の色を手動で調整します。

カラースペース — カラースペースを選択できます。オプションには RGB、YCbCr、および YPbPr があります。

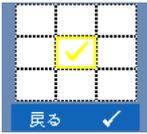
表示 (PC モード)

表示メニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります：



縦横比 — アスペクト比を選択して画像の表示方法を調整します。

- オリジナル - オリジナルを選択して入力ソースに従って投影画像のアスペクト比を維持します。
- 4:3 - 入力ソースを調整して画面に合わせ、4:3 画像を投影します。
- Wide - 入力ソースを調製して画面の幅に合わせ、ワイドスクリーン画像を投影します。



ズーム — を押して**ズーム**メニューを起動します。

ズームする領域を選択し、を押してズームされた画像を表示します。



またはを押して画像の倍率を調整し、を押して表示します。



ズームナビゲーション — を押して**ズームナビゲーション**メニューを起動します。

を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

水平位置 — を押して画像を左へ移動し、を押して画像を右へ移動します。

垂直位置 — を押して画像を下へ移動し、を押して画像を上へ移動します。

周波数 — ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックスカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、周波数コントロールを使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。

トラッキング — ディスプレイ信号の位相をグラフィックスカードと同期化します。画像が不安定だったり、ちらつく場合は、トラッキングを使って修正します。これは微調整です。

表示（ビデオモード）

表示メニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります：



縦横比 — アスペクト比を選択して画像の表示方法を調整します。

- オリジナル - オリジナルを選択して入力ソースに従って投影画像のアスペクト比を維持します。
- 4:3 - 入力ソースを調整して画面に合わせ、4:3 画像を投影します。
- Wide - 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、ワイドスクリーン画像を投影します。



ズーム — を押してズームメニューを起動します。

ズームする領域を選択し、 を押してズームされた画像を表示します。



または を押して画像の倍率を調整し、 を押して表示します。



ズームナビゲーション — を押してズームナビゲーションメニューを起動します。

を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

ランプ

ランプメニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ランプメニューには次のオプションがあります。



ランプモード—ノーマルとエコモード間で選択します。

ノーマルモードは、全出力レベルで作動します。ECO モードは低電力レベルで作動するため、ランプの寿命が延び、操作が静かになり、また、画面上のルミネンス出力が弱くなります。

ランプ寿命—最後にランプタイマーをリセットしてからの経過時間を表示します。

ランプ時リセット—はいを選択して、ランプタイマーをリセットします。

設定

[セットアップ]メニューでは言語、プロジェクタモード、キーストーン、警報音量、ワイヤレスとネットワークを設定します。



言語 — OSD 用の言語を設定します。を押して**言語**メニューを起動します。



投影モード — プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。

-  フロントプロジェクションデスクトップ - これは初期設定オプションです。
-  フロントプロジェクションシーリングマウント - 天井取り付けで投影する場合に、プロジェクタが画像を上下逆にします。
-  リアプロジェクションデスクトップ - プロジェクタは画像を反転表示します。透過画面の裏面から投影することができます。
-  リアプロジェクションシーリングマウント - プロジェクタは画像を反転表示し、上下逆にします。天井取り付けで透過画面の裏面から投影できません。

自動キーストーン — オンを選択すると、プロジェクタを傾けたことに起因する垂直画像のゆがみを自動補正します。

垂直キーストーン — プロジェクタを傾けた場合の画像の垂直歪みを手動で調整します。

警告音ボリューム — 電源のオン/オフ、警告およびコマンドキーに対してブザー警報の音の大きさ（オフ、低、中、高）を設定します。

WIRELESS AND NETWORK—オンを選択すると、ワイヤレスとネットワーク機能が起動します。を押してワイヤレスとネットワーク設定を行います。

ワイヤレスとネットワーク

[ワイヤレスとネットワーク]メニューでは、ネットワークの接続設定を設定します。

戻る		✓					
DHCP	オン		オフ				
IPアドレス	192	.	168	.	4	.	137
サブネットマスク	255	.	255	.	255	.	0
ゲートウェイ	192	.	168	.	4	.	137
DNS	192	.	168	.	1	.	4
保存			✓				
ワイヤレス	接続	✓		切断			
リセット			✓				
メニューの終了			✓				

DHCP—DHCP サーバーがプロジェクトが接続されるネットワークに存在する場合、IP アドレスは DHCP **オン**を選択するとき自動的に取得されます。DHCP が**オフ**の場合、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定します。 を使用して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの番号を選択します。エンターを入力して各番号を確認し、 を使用して次の項目を設定します。

IP アドレス—IP アドレスをネットワークに接続されたプロジェクトに自動または手動で割り当てます。

サブネットマスク—ネットワーク接続のサブネットマスクを設定します。

ゲートウェイ—ゲートウェイを手動で設定する場合、ゲートウェイアドレスをネットワーク / システム管理者でチェックします。

DNS—DNS を手動で設定する場合、DNS サーバー IP アドレスをネットワーク / システム管理者でチェックします。

保存—を押して、ネットワーク設定で行った変更を保存します。

ワイヤレス—初期設定は [接続] です。[切断] を選択して LAN ネットワーキングのみを使用するワイヤレス接続を無効にします。

 **メモ**：ワイヤレス接続に対して初期設定を使用することをお勧めします。

リセット—を押して、ネットワーク設定をリセットします。

情報

[情報] メニューには、現在のプロジェクト設定が表示されます。

戻る	✓
モデル名	4610X WIRELESS PLUS
入力ソース	アナログ RGB 1024X768 60Hz
オペレーション時	10 hr
PPID	CN-0U812M-S0081-46B-0208
IPアドレス	192.168.4.137
SSID	DELL 4610X Projector
メニューの終了	✓

その他

[その他] メニューでは、メニュー、画面、オーディオ、電源、セキュリティ、クローズドキャプションの設定を変更します (NTSC のみ)。テストパターンと出荷時にリセットを実行することもできます。

戻る	✓
メニュー設定	✓
スクリーン設定	✓
オーディオ設定	✓
パワー設定	✓
セキュリティ設定	✓
クローズドキャプション	オン ✓ オフ
テストパターン	オフ 1 ✓ 2 ✓
出荷時にリセット	✓
メニューの終了	✓

メニュー設定 — を選択して押して、メニュー設定を起動します。メニュー設定は、次のオプションで構成されます。

戻る	✓
メニュー位置	
メニューの透明度	0
メニュータイムアウト	20
メニューロック	オン オフ
メニューの終了	✓

メニュー位置 — OSD メニューの画面上の位置を変更します。

メニューの透明度 — OSD 背景の透明度レベルを変更します。

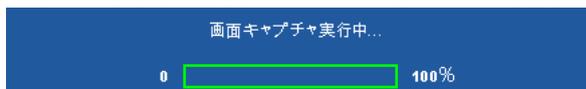
メニュータイムアウト — OSD タイムアウトの遅延時間を調整します。初期設定では、20 秒操作しないと OSD は非表示になります。

メニューロック —オンを選択するとメニューロックが有効になり、OSD メニューが非表示になります。オフを選択するとメニューロックが解除されます。メニューロック機能を無効にして OSD を非表示にしたい場合は、コントロールパネルまたはリモコンの **メニュー** ボタンを 15 秒間押し、次に機能を無効にします。

スクリーン設定 — を選択して押して、画面設定を起動します。画面設定メニューは、次のオプションで構成されます。



スクリーンキャプチャ — を選択して押し画面ディスプレイをキャプチャすると、次のメニューメッセージが画面に表示されます。

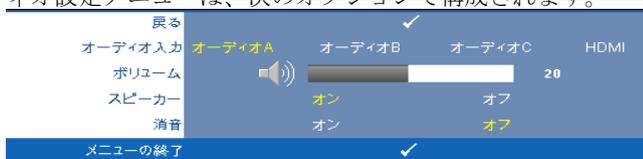


メモ：フル画像にするには、プロジェクタに接続している入力信号が 1024 x 768 解像度であることを確認します。

スクリーン —Dell を選択し、壁紙として Dell ロゴを使用します。**キャプチャー済** を選択し、壁紙としてキャプチャされた画像を設定します。

リセット — を選択して押しキャプチャされたピクチャを削除し、デフォルト設定に戻します。

オーディオ設定 — を選択して押して、オーディオ設定を変更します。オーディオ設定メニューは、次のオプションで構成されます。



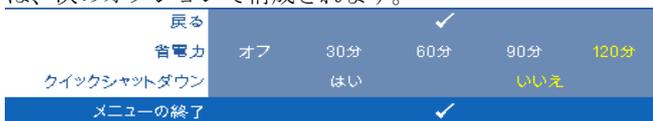
オーディオ入力 — オーディオ入力翼 I-オーディオ入力ソースを選択します。オーディオ-A、オーディオ-B、オーディオ-C、HDMI のオプションがあります。

ボリューム — を押して音量を下げ、 を押して音量を上げます。

スピーカー — **オン** を選択してスピーカを有効にします。**オフ** を選択するとスピーカが無効になります。

消音 — オーディオ入力とオーディオ出力のサウンドを消音にします。

パワー設定 — を選択して押して、電源設定を起動します。電源設定メニューは、次のオプションで構成されます。



省電力 — **オフ** を選択すると省電力モードは無効になります。デフォルトで、プロジェクタは 120 秒間動作しないと省電力モードに入ります。画面に、60 秒間のカウントダウンの後、省電力モードに切り替わるという警告メッセージが表示されます。カウントダウンの間どれかのキーボタンを押すと、省電力モードは停止します。

省電力モードに入る遅延時間は、他にも設定できます。遅延時間は、入力信号がない状態でプロジェクタが待機する時間です。省電力は 30 分、60 分、90 分、120 分に設定できます。

遅延時間内に入力信号が検出されない場合は、プロジェクタはランプをオフにして、省電力モードになります。遅延時間内で入力信号が検出されると、プロジェクタは自動的にオンになります。省電力モードの間 2 時間入力信号が検出されない場合は、プロジェクタは省電力モードから電源オフモードに切り替わります。プロジェクタの電源を入れるには電源ボタンを押します。

クイックシャットダウン — **はい** を選択し、**電源** ボタンを一回押してプロジェクタの電源を切ります。この機能で、ファンの速度を上げてプロジェクタの電源を素早く切ります。クイック電源オフの際には、幾分大きいノイズがあります。

 **メモ**：プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで60秒待ちます。直ちに電源をオンにしようとすると、電源がオンになるまでより時間がかかります。その冷却ファンは約30秒間全速力で作動し、内部温度を安定します。

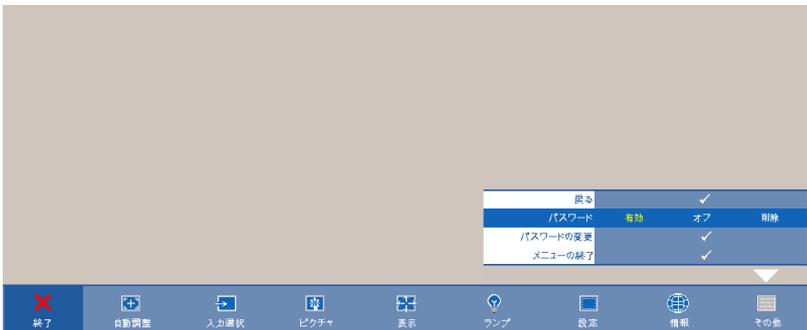
セキュリティ設定 を選択して押して、セキュリティ設定を起動します。セキュリティ設定メニューにより、パスワード保護を有効にしたり設定したりできます。



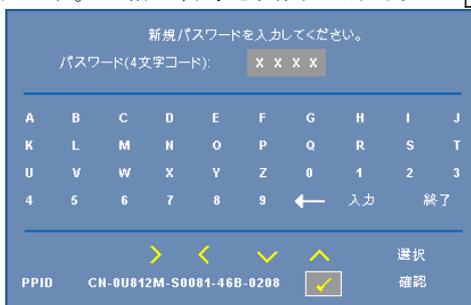
パスワード—パスワード保護が有効になっている場合は、電源プラグをコンセントに挿入し、プロジェクタの電源が初めて入ると、パスワードの入力を求めるパスワード保護画面が表示されます。初期設定ではこの機能は無効です。**有効**を選択することで、この機能を有効にできます。パスワードを前に設定している場合、まずパスワードを入力してから機能を選択します。このパスワードセキュリティ機能は、次回プロジェクタをオンにすると起動します。この機能を有効にすると、プロジェクタの電源を入れるとパスワードの入力が求められます。

1 初回パスワード入力の要請

- a **その他**メニューに進み、 を押して、次に**パスワード**を選択してパスワード設定を**有効**にします。



- b パスワード機能を有効にすると、文字画面がポップアップ表示されます。4桁の番号を画面から入力してを押します。



- c 確認のため、パスワードをもう一度入力します。
- d パスワードが認証されると、プロジェクタの機能とユーティリティにアクセスできます。
- 2 間違ったパスワードを入力した場合は、あと2回で正しいパスワードを入力する必要があります。3回無効なパスワードを入力すると、プロジェクタは自動的にオフになります。
-  **メモ:** パスワードを忘れた場合は、DELL™ または正規サービス技術者までご連絡ください。
- 3 パスワード機能を無効にするには、[オフ] を選択して機能を無効にします。
- 4 パスワードを削除するには、**削除** を選択します。

パスワードの変更 元のパスワードを入力し、次に新規パスワードを入力します。新規パスワードをもう一度入力して確認します。

元のパスワードを入力してください。

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID CH-0U842M-S0081-46B-0208

新規パスワードを入力してください。

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID CH-0U842M-S0081-46B-0208

新しいパスワードを再入力してください。

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID CH-0U842M-S0081-46B-0208

クローズドキャプション オンを選択してクローズドキャプションを有効にし、クローズドキャプションメニューを起動します。適切なクローズドキャプション、CC1、CC2、CC3、CC4を選択します。

戻る

選択 CC1 CC2 CC3 CC4

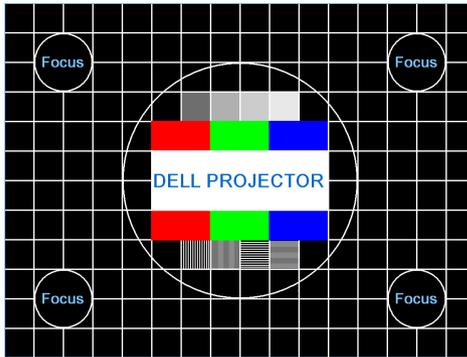
メニューの終了

 **メモ:** クローズドキャプションのオプションは、NTSC でのみ使用できます。

テストパターン—テストパターンは、フォーカスと解像度をテストするために使用されます。

オフ、1または2を選択することで、**テストパターン**の有効/無効を切り替えることができます。コントロールパネルの  と  ボタンを2秒間同時に押し続けることで、**テストパターン1**を呼び起こすこともできます。コントロールパネルの  と  ボタンを2秒間同時に押し続けることで、**テストパターン2**を呼び起こすこともできます。

テストパターン1:



テストパターン2:



出荷時にリセット—を選択して押しすべての設定を出荷時デフォルトにリセットすると、以下の警告メッセージが表示されます。



コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。

ワイヤレスネットワーキングのインストール

 **メモ**：コンピュータには以下の最低システム要件を満たしている必要があります。

オペレーティングシステム：

- Windows

Microsoft Windows 2000 with service pack 4 以降、Windows XP Home または Professional Service pack 2 32 ビット (推奨)、および Windows Vista 32 ビット

- MAC

MacBook 以上、MacOS 10.5 以上

最低ハードウェア：

- a** Intel Pentium III-800 MHZ 以上
- b** 256MB の RAM (必須)、512 MB 以上を推奨。
- c** 10MB の空きハードディスク容量
- d** 800 x 600 16 ビットの high color または高解像度ディスプレイをサポートする Super VGA をサポートします (PC とディスプレイ)
- e** イーサネット接続用のイーサネットアダプタ (10 / 100 bps)
- f** WLAN 接続用にサポートされる WLAN アダプタ (任意の NDIS 準拠 802.11b または 802.11g Wi-Fi デバイス)

Web ブラウザ

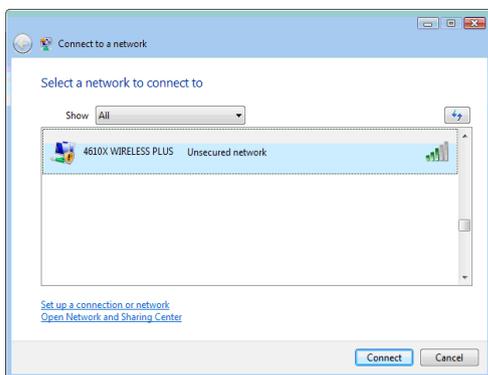
Microsoft Internet Explorer 6.0 または 7.0 (推奨)、Firefox 1.5 または 2.0、および 3.0 と above

프로젝터를ワイヤレスで使用するには、以下のステップを完了する必要があります。

- 1 ワイヤレスアンテナを取り付けます。10 ページの「アンテナの取り付け」をご覧ください。
- 2 プロジェクタでワイヤレス接続を有効にします。43 ページの「ワイヤレスとネットワーク」をご覧ください。
- 3 [入力選択] メニューを **ワイヤレス/ネットワーク** に設定します。35 ページの「入力選択」をご覧ください。 **ワイヤレスガイド画面** が以下に表示されます。:



- 4 ログインコード、ネットワーク名 (SSID)、および IP アドレスをメモしてください。後でログインするためにこれらの情報が必要となります。
- 5 コンピュータを **4610X WIRELESS PLUS** ネットワークに接続します。

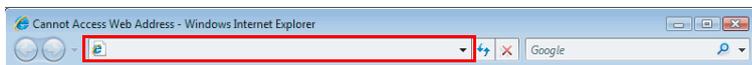


 **メモ：**

- コンピュータには、接続を検出するためのワイヤレスネットワーク機能が搭載されている必要があります。
- 4610X WIRELESS PLUS ネットワークに接続すると、他のワイヤレスネットワークとワイヤレス接続を失います。

- 6 インターネットブラウザを開きます。4610X WIRELESS PLUS Web 管理 web ページに自動的にジャンプします。

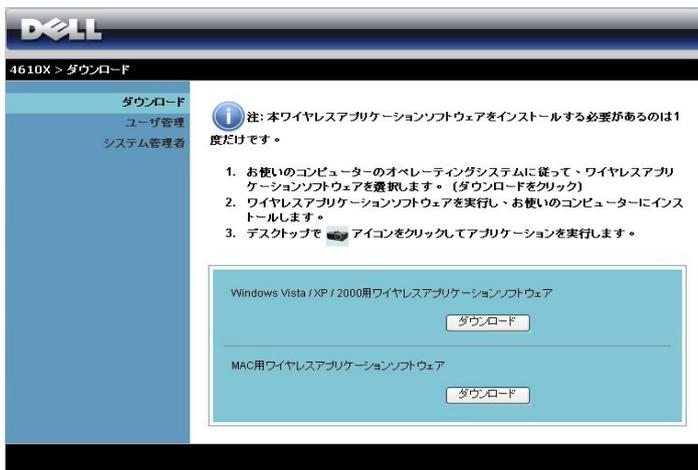
 **メモ：** Web ページが自動的に読み込まれない場合、ブラウザのアドレスバーにプロジェクトの画面からメモした IP アドレスを入力してください。



- 7 4610X WIRELESS PLUS Web 管理ページが開きます。初めて使用する場合、[ダウンロード]をクリックします。



- 8 適切なオペレーティングシステムを選択し、[ダウンロード]をクリックします。



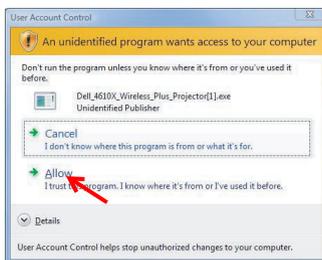
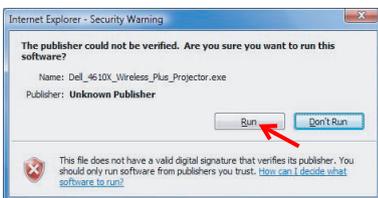
- 9 [ファイル名を指定して実行]をクリックして、ソフトウェアの1回限りのインストールに進みます。



メモ: ファイルを保存した後でインストールを選択することができます。これを実行するには、[保存]をクリックします。



メモ: 次の警告メッセージが表示されたら、[ファイル名を指定して実行]と[許可]をそれぞれ選択します。



- 10 インストールソフトウェアが起動します。画面の指示に従って、セットアップを完了します。



4610X WIRELESS PLUS ワイヤレスアプリケーションソフトウェア

インストールが完了すると、4610X WIRELESS PLUS ワイヤレスアプリケーションソフトウェアが起動し、プロジェクタを自動的に検索します。以下の画面が表示されます。



ログイン

プロジェクタとコミュニケーションを取るには、「ワイヤレスネットワークのインストール」のステップ4で提供されたログインコードを入力し、[OK] をクリックします。



-  **メモ** : IPアドレスが検出されない場合、画面左下に表示される IP アドレスを入力します。

ボタンを理解する

ログインが成功すると、次の画面が表示されます。



項目	説明
1	ステータスバー IP とログインコード情報を表示します。
	メニュー このアイテムをクリックすると、アプリケーションメニューがアクティブになります。
	最小化ボタン このボタンをクリックするとアプリケーションが最小化されます。
	閉じるボタン このボタンをクリックするとアプリケーションが閉じます。
2	コントロールツールバー
	全画面 このアイテムをクリックすると、全画面で画像を投影します。
	分割 1 このアイテムをクリックすると、画面左上の画像が投影されます。
	分割 2 このアイテムをクリックすると、画面右上の画像が投影されます。
	分割 3 このアイテムをクリックすると、画面左下の画像が投影されます。
	分割 4 このアイテムをクリックすると、画面右下の画像が投影されます。
	停止 このボタンをクリックすると投影が停止されます。
	一時停止 このボタンをクリックすると投影が一時停止されます。
	更新 このボタンをクリックすると、投影された画像が更新されます。
3	接続ステータス
	接続アイコン 投影が進行中の時に点滅します。

プレゼンテーションの投影

- プレゼンテーションを投影するには、投影ボタンのどれかをクリックします 。
- プレゼンテーションを一時停止するには、 をクリックします。アイコンが緑に変わります。
- プレゼンテーションを続行するには、 をクリックします。
- プレゼンテーションを停止するには、 をクリックします。

 **メモ:** 次の情報は、ワイヤレスデータプレゼンテーションモード専用です。ビデオクリップやアニメーションを表示している場合、画像表示が遅くなったり、スムーズに表示できないことがあります。以下のフレームレートを参照してください。

ワイヤレスプレゼンテーションのフレームレート

画面変動 % ¹	推定フレーム / 秒 ²
<5 %	30 ³
<10%	16 ³
<20%	12 ³
<40%	8 ³
<75%	5 ³
100%	3 ³
> 100%	≤ 2 ⁴

メモ:

- 1 画面変動のパーセンテージは 1024 x 768 に基づいています。例えば、1024 x 768 デスクトップに 320 x 240 を表示する場合、画面変動は 9.8% です。
- 2 フレームレートの作動は、ネットワーク環境、画像コンテンツ、信号条件、場所、CPU パフォーマンスなどの要因によって異なります。
- 3 802.11g 接続を使用するクリーンな WLAN 環境下では、画面の伸縮はありません。
- 4 1024 x 768 に 802.11g の下で圧縮されます。

 **メモ:** ワイヤレスプレゼンテーションを実行しているとき、コンピュータは S1 (スタンバイモード) / S3 (スリープモード) / S4 (ハイパーネットモード) に入りません。

メニューを使う

 をクリックしてメニューを表示します。

Web管理
プロジェクトの検索
Application Tokenウィザード
情報
このソフトウェアについて
終了

WEB 管理 —このボタンをクリックして Web 管理ページを開きます。59 ページの「Web 管理からプロジェクトの管理」をご覧ください。

プロジェクトの検索 —このボタンをクリックしてワイヤレスプロジェクトを検索し、接続します。

APPLICATION TOKEN ウィザード —このボタンをクリックしてアプリケーショントークンを作成します。78 ページの「アプリケーショントークンの作成」をご覧ください。

情報 —このボタンをクリックすると、システム情報が表示されます。

このソフトウェアについて —このアイテムをクリックすると、アプリケーションバージョンが表示されます。

終了 —このボタンをクリックするとアプリケーションが閉じます。

Web 管理からプロジェクトの管理

セットワーク設定の設定

プロジェクトがネットワークに接続されている場合、Web ブラウザを使用してプロジェクトにアクセスできます。ネットワーク設定を行う場合、43 ページの「ワイヤレスとネットワーク」を参照してください。

Web 管理にアクセスする

Internet Explorer 5.0 以降または Netscape Navigator 7.0 以降を使用して、IP アドレスを入力します。これで Web 管理にアクセスし、リモートの場合からプロジェクトを管理できるようになりました。

ホームページ



- Web ブラウザにプロジェクトの IP アドレスを入力することで、Web 管理ホームページにアクセスします。43 ページの「ワイヤレスとネットワーク」をご覧ください。
- リストから、Web 管理用の言語を選択します。
- 左タブのメニューアイテムをクリックして、ページにアクセスします。

ワイヤレスアプリケーションソフトウェアのダウンロード

51 ページの「ワイヤレスネットワーキングのインストール」を参照してください。

The screenshot shows a Dell website page for downloading wireless application software. At the top left is the Dell logo. Below it is a breadcrumb trail: "4610X > ダウンロード". A left-hand navigation menu contains the following items: "ダウンロード" (highlighted), "ユーザ管理", and "システム管理者". The main content area features an information icon (i) followed by a note: "注: 本ワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールする必要があるのは1度だけです。" Below the note is a numbered list of three steps: 1. Select the software based on the operating system. 2. Execute the software and install it. 3. Click the application icon on the desktop. Below the list is a light blue box with two sections: "Windows Vista / XP / 2000用ワイヤレスアプリケーションソフトウェア" with a "ダウンロード" button, and "MAC用ワイヤレスアプリケーションソフトウェア" with a "ダウンロード" button.

コンピュータの対応するオペレーティングシステムの [ダウンロード] ボタンをクリックします。

ユーザ管理

これにより、プロジェクタケーブルを使わずにさまざまなソースから会議のプレゼンテーションをホストし、各プレゼンテーションが画面に表示される方法を制御することができます。



パソコン名 : 会議制御用にログされたコンピュータを一覧表示します。

投影コントロール : ボタンをクリックして、各コンピュータの投影が画面に表示される方法を制御します。

-  全画面投影 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面全体に占められます。
-  分割 1 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面左上に表示されます。
-  分割 2 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面右上に表示されます。
-  分割 3 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面左下に表示されます。
-  分割 4 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面右下に表示されます。
-  停止 - コンピュータからの投影が停止します。

IP アドレス : 各コンピュータの IP アドレスを表示します。

 **メモ** : 会議を終了するには、[ログアウト]をクリックします。

プロジェクトの管理

システム管理者

4610X > システム管理者

ダウンロード
ユーザ管理
システム管理者

管理者パスワード	<input type="text"/>	ログイン
PPID	CN-00F545-S0081-925-0000	

管理ページにアクセスするには、管理者パスワードが要求されます。

- **管理者パスワード**: 管理者パスワードを入力して、[ログイン]をクリックします。初期設定のパスワードは「admin」です。パスワードを変更するには、67 ページの「パスワードの変更」を参照してください。

状態



4610X > システム管理者 > 状態 ログアウト >>

状態		
ネットワークセットアップ	ネットワーク状態	
投影セットアップ	IP アドレス	192.168.3.52
パスワードの変更	サブネットマスク	255.255.255.0
出荷時状態に戻す	デフォルトゲートウェイ	192.168.3.254
ファームウェア更新	WiFi MACアドレス	00:22:5F:17:09:8B
プロジェクタのコントロールパネル	MACアドレス	00:1E:C9:BA:84:C5
アラート設定	接続状態	投影待ち中
再起動	ユーザー数	0
	プロジェクターの状態	
	モデル名	4610X WIRELESS PLUS
	プロジェクタ名	D33989
	場所	
	連絡先	
	ステータス	冷却
	ランプ時間	3 hrs

ネットワーク状態、接続状態、およびプロジェクターの状態 情報を表示します。

ネットワーク状態

ページ 43 の OSD セクションを参照してください。

4610X > システム管理者 > ネットワークセットアップ ● ログアウト >>

状態
ネットワークセットアップ
投影セットアップ
パスワードの変更
出荷時状態に戻す
ファームウェア更新
プロジェクトのコントロールパネル
アラート設定

再起動

IP セットアップ	<input checked="" type="radio"/> IPアドレスを自動的に取得 <input type="radio"/> 次の IP アドレスを使用する				
	IPアドレス	192	168	100	10
	サブネットマスク	255	255	255	0
	デフォルトゲートウェイ	192	168	100	10
	DNSサーバー	192	168	100	10
DHCP セットアップ	<input checked="" type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 無効				
	開始IPアドレス	192	168	100	11
	終了IPアドレス	192	168	100	254
	サブネットマスク	255	255	255	0
	デフォルトゲートウェイ	192	168	100	10
	DNSサーバー	192	168	100	10
無線セットアップ	無線LAN	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効			
	地域	---- WORLDWIDE ----			
	SSID	4610X WIRELESS PLUS			
	SSIDブロードキャスト	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効			
	チャンネル	Auto			
	WEP	無効			
	キー				
GateKeeper	<input type="radio"/> 全て開放 <input checked="" type="radio"/> 全て遮断 <input type="radio"/> インターネットのみ開放 (ポート80及び443)				

IP セットアップ

- IPアドレスを自動的に取得してIPアドレスをプロジェクトに自動的に割り当てる、または次のIPアドレスを使用するIPアドレスを手動で割り当てるを選択します。

DHCP セットアップ

- [自動]を選択してDHCPサーバから[開始IPアドレス]、[終了IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]、[DNSサーバー]アドレスを自動的にセットアップするか、[無効]を選択してこの機能を無効にします。

無線セットアップ

- [有効]を選択して[地域]、[SSID]、[SSIDブロードキャスト]、[チャンネル]、[WEP]、[キー]をセットアップします。[無効]を選択して、ワイヤレスセットアップを無効にします。

SSID: 最大 32 の文字長。

WEP: WEP キーを無効にしたり、ASCII または HEX 文字列で 64 ビットまたは 128 ビットのどちらかを選択します。

キー: WEP が有効になると、選択した WEP モードに従ってキー値を設定する必要があります。

GateKeeper

- 3つのオプションがあります。

全て開放: ワイヤレスプロジェクトを介してオフィスのネットワークへのアクセスを許可します。

全て遮断: ワイヤレスプロジェクトを介したオフィスのすべてのネットワークへのアクセスをブロックします。

インターネットのみ開放: ユーザーをオフィスネットワークからブロックしますが、インターネット接続機能は留保されます。

[適用] ボタンをクリックして変更を保存し、適用します。変更を有効にするには、プロジェクトを再起動する必要があります。

投影セットアップ

状態 ネットワークセットアップ 投影セットアップ パスワードの変更 出荷時状態に戻す ファームウェア更新 プロジェクトのコントロールパネル アラート設定 <input type="checkbox"/> 再起動	投影セットアップ	解像度	XGA (1024x768) ▼
		色数	Normal (16 bit) ▼
		認証コード	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> ランダム <input type="radio"/> 指定 <input type="text"/>
プロジェクトのセットアップ	モデル名	4610X WIRELESS PLUS	
	プロジェクト名	D33989	
	場所	<input type="text"/>	
	連絡先	<input type="text"/>	
		<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

投影セットアップ

- **解像度**：解像度を選択します。オプション：XGA (1024 x 768) と WXGA (1280 x 768)。
- **色数**：より鮮明なプレゼンテーションを行うために、色数を選択します。オプション：標準 (16 ビット) と High (32 ビット)。
- **認証コード**：プロジェクトでログインコードの生成方法を選択します。3つのオプションがあります。
 - **無効**：システムにログインしているとき、ログインコードは必要ありません。
 - **ランダム**：初期設定は [ランダム] です。ログインコードはアトランダムに生成されます。
 - **指定**：4桁のコードを入力します。このコードは、システムにログインするために使用されます。

プロジェクトのセットアップ

- **モデル名**、**プロジェクト名**、**場所**、**連絡先**情報を設定します (各フィールドに対して最大 21 文字)。

[適用] ボタンをクリックして変更を保存し、適用します。変更を有効にするには、プロジェクトを再起動する必要があります。

パスワードの変更

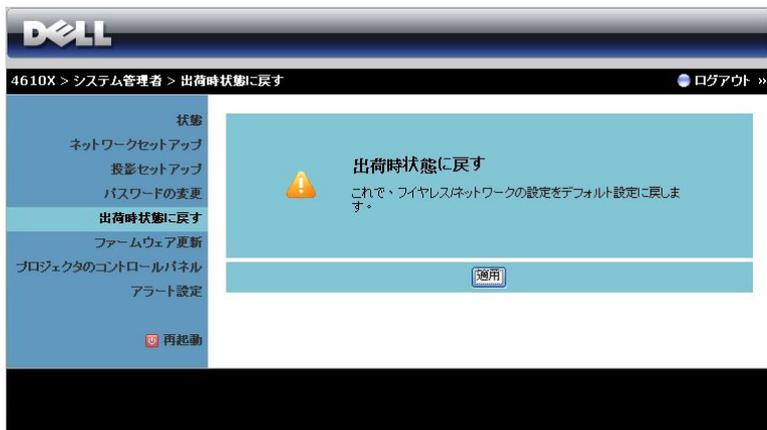
The screenshot shows the Dell system management interface. At the top, there is a navigation bar with the Dell logo and the text "4610X > システム管理者 > パスワードの変更". On the right side of the navigation bar, there is a "ログアウト" button. Below the navigation bar, there is a sidebar menu with the following items: "状態", "ネットワークセットアップ", "投影セットアップ", "パスワードの変更" (highlighted), "出荷時状態に戻す", "ファームウェア更新", "プロジェクトのコントロールパネル", and "アラート設定". At the bottom of the sidebar, there is a "再起動" button. The main content area shows a form titled "システム管理者" with two input fields: "新しいパスワード" and "パスワード再入力". A "適用" button is located to the right of the second input field.

このページにより、管理者パスワードを変更します。

- **新しいパスワード**: 新しいパスワードを入力します。
- **パスワード再入力**: パスワードを再入力して、[**適用**] をクリックします。

 **メモ**: 管理者パスワードを忘れた場合、Dell にご連絡ください。

出荷時状態に戻す



[適用] ボタンをクリックしてすべてのワイヤレス/ネットワーク設定を工場出荷時の初期設定に復元します。

ファームウェア更新

ファームウェアの更新ページを使って、プロジェクトのファームウェアを更新します。

ファームウェア更新を開始するには、次のステップを行います：

- 1 [参照] を押して更新するファイルを選択します。
- 2 [アップデート] ボタンをクリックして開始します。デバイスでファームウェアを更新している間、お待ちください。

警告：更新プロセスを中断しないでください。システム破壊の原因となります。

- 3 更新が完了したら、[OK] をクリックします。



プロジェクタのコントロールパネル

4610X > システム管理者 > プロジェクタのコントロールパネル

● ログアウト >

プロジェクタ情報

プロジェクターの状態: スタンバイ

省電力: オフ

アラート状態: よい

イメージ制御

操作モード: 標準モード エコモード

投影モード: フロントプロジェクションデスクトップ

ソース選択: なし

ビデオモード: プレゼンテーションモード

何もつっていない画面: オン オフ

縦横比: 元 4:3 Wide

明るさ: 0 (0~100)

コントラスト: 0 (0~100)

オーディオ管理

オーディオ入力: オーディオA

ボリューム: 0 (0~20)

スピーカー: オン オフ

警告音ボリューム: オフ

プロジェクタ情報

- **プロジェクターの状態**: ランプオン、スタンバイ、省電力、冷却の4つのステータスがあります。**リフレッシュ**ボタンをクリックして、ステータスとコントロール設定を更新します。
- **省電力**: 省電力はオフ、30分、60分、90分、120分に設定できます。詳しくは、46ページの「省電力」を参照してください。
- **アラート状態**: ランプの故障、ランプ時間切れ、プロジェクターオーバーヒート、ファンエラー、ランプ過熱の5つのステータスがあります。警報が有効になっている場合、プロジェクタは保護モードにロックされます。保護モードを終了するには、[**クリア**] ボタンをクリックして警報状態を消去してから、プロジェクタの電源をオンにします。

イメージ制御

- **操作モード**: 操作モードを選択します。通常モードとエコモードの、2つのオプションがあります。
- **プロジェクションモード**: プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。投影モードには、フロントプロジェクションデスクトップ、フロントプロジェクションシーリングマウント、リアプロジェクションデスクトップ、リアプロジェクションシーリングマウントの4つのモードがあります。
- **ソース選択**: ソース選択メニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。VGA-A、VGA-B、S ビデオ、コンポジットビデオ、HDMI、ワイヤレス/ネットワークから選択できます。
- **ビデオモード** プロジェクタを使用する方法に基づいて、ディスプレイ画像を最適化するモードを選択します:
 - **プレゼンテーション**: プレゼンテーションスライドに最適です。
 - **明るさ**: 最大の明るさとコントラスト
 - **映画**: 映画と写真の表示用です。
 - **sRGB**: より正確なカラープレゼンテーションを提供します。
 - **カスタム**: お好みの設定です。
- **何もうつっていない画面**: オンまたはオフを選択できます。
- **縦横比**: アスペクト比を選択して画像の表示方法を調整します。
- **明るさ**: 値を選択して画像の明るさを調整します。
- **コントラスト**: 値を選択してディスプレイのコントラストを調整します。

[**自動調整**] ボタンをクリックして、設定を自動的に調整します。

オーディオ管理

- **オーディオ入力**: 入力ソースを選択します。オーディオ A、オーディオ B、オーディオ C、HDMI のオプションがあります。
- **ボリューム**: オーディオボリュームに対して値 (0 ~ 20) を選択します。
- **スピーカー**: 「オン」を選択してオーディオ機能を有効にしたり、オフを選択してオーディオ機能を無効にしたりできます。
- **警告音ボリューム**: 電源のオン/オフ、警告およびコマンドキーに対して警報音の大きさ (オフ、低、中、高) を設定します。

[**出荷時にリセット**] ボタンをクリックして、工場出荷時の設定に復元します。

アラート設定

The screenshot shows the Dell system management interface for alert settings. The top navigation bar includes the Dell logo and the path "4610X > システム管理者 > アラート設定". A "ログアウト" button is visible in the top right. The left sidebar contains a navigation menu with options like "状態", "ネットワークセットアップ", "設定セットアップ", "パスワードの変更", "出荷時状態に戻す", "ファームウェア更新", "プロジェクトのコントロールパネル", and "アラート設定". The main content area is titled "Eメールアラート" and includes a status selection (有効 or 無効), a "メール警報テスト" button, and input fields for宛先, Cc, and 発信元. Below this is the "SMTP設定" section with fields for 送信SMTPサーバ, ユーザー名, and パスワード. The "警報条件" section has checkboxes for ランプ警告, ランプ寿命が短くなっています, 温度警告, and 非純正ランプモジュール. A "保存" button is at the bottom.

E メールアラート

- E メールアラート：E メールで通知を受け取るか（有効）、または受け取らない（無効）かを設定できます。
- 宛先 /Cc/ 発信元：異常または警告が発生した場合、通知を受信する送信者（発信元）と受信者（宛先 /Cc）の E メールアドレスを入力できます。
- 件名：Eメールの件名を入力できます。

[メール警報テスト] ボタンをクリックして E メール警報設定をテストします。

SMTP 設定

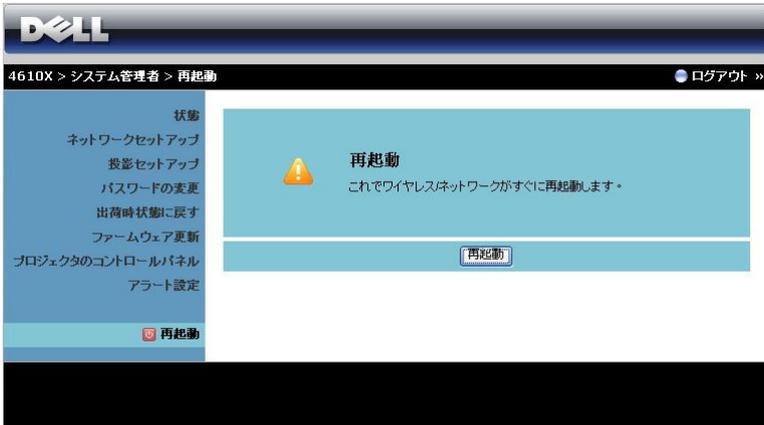
- 送信 SMTP サーバー、ユーザー名およびパスワードはネットワーク管理者または MIS から提供される必要があります。

警報条件

- E メールで通知する異常や警告を選択できます。どれかの警報条件が発生したとき、E メールが受信者（宛先 /Cc）に送信されます。

[保存] ボタンをクリックして設定を保存します。

再起動



[再起動] をクリックすると、システムが再起動します。

Crestron



Crestron 機能の場合。

ヒント:

インターネット経由でプロジェクトにリモートでアクセスするつもりです。ブラウザをどのように設定すればいいのでしょうか？

ブラウザを最適の状態を設定するには、以下のステップに従ってください。

- 1 [コントロールパネル] → [インターネットオプション] → [全般][タブ] → [インターネット一時ファイル] → [設定] → [選択][ページへのすべての訪問者]を順番に開きます。
- 2 一部のファイアウォールやアンチウイルスがHTTPアプリケーションをブロックすることがあります。可能な場合、ファイアウォールやアンチウイルスをオフにしてください。

インターネット経由でプロジェクトにリモートでアクセスするつもりです。そのためには、どのソケットポート番号をファイアウォールで開くべきですか？

次は、プロジェクトが使用するTCP/IPソケットポートです。

UDP/TCP	ポート番号	説明
TCP	80	Web 設定 (HTTP)
UDP/TCP	25	SMTP: メールサーバー間でEメールルーティングに使用します
UDP/TCP	161	SNMP: 簡易ネットワーク管理プロトコル
UDP	9131	AMX: AMX ディレクトリに使用します

インターネットを介してプロジェクトにアクセスできないのは、どうしてですか？

- 1 コンピュータ/ノートPCがインターネットに接続されているかどうか、確認してください。
- 2 コンピュータ/ノートPCが同じサブネットに有るかどうか、MISまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

SMTP サーバーにアクセスできないのは、どうしてですか？

- 1 SMTP サーバー機能がプロジェクトに対して開いており、プロジェクトに割り当てられた IP が SMTP サーバーへのアクセスを許可されているかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。プロジェクトの SMTP ソケットポート番号は 25 で、これを変更することはできません。
- 2 送信 SMTP サーバー、ユーザー名、パスワードが正しく設定されているか、確認してください。
- 3 SMTP サーバーには、「発信元」のメールアドレスが「ユーザー名」と「パスワード」に相互に関連付けられているかどうかを確認するものもあります。例えば、「発信元」のメールアドレスとして test@dell.com を使用します。SMTP サーバーにログインするユーザー名とパスワードに対して、test@dell.com アカウント情報を使用する必要もあります。

プロジェクトがテストメールの送信されたことをすでに示しているのに、メール警報テストを受信できないのはどうしてですか？

SMTP サーバーが警報メールをスパムメールとして認識しているか、SMTP サーバーの制約が原因となっていると思われます。SMTP サーバーの設定については、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

ファイアウォール設定とよくある質問 (FAQ)

Q: Web 管理ページにアクセスできないのは、どうしてですか？

A: コンピュータのファイアウォール設定では、Web 管理 Web ページにアクセスできないようにします。次の設定をご参照ください。

ファイアウォール 保護	設定
McAfee セキュリティセンター	<ol style="list-style-type: none">1 McAfee セキュリティセンターを起動します ([スタート] > [すべてのプログラム] > [McAfee] > [McAfee セキュリティセンター])。2 [パーソナルファイアウォールプラス] タブで、インターネットアプリケーションリストを表示リストをクリックします。3 リストから Dell 4610X ワイヤレスプラスプロジェクトを検索し、選択します。4 その [許可] カラムを右クリックします。5 ポップアップメニューから [完全アクセスを許可] を選択します。
Norton AntiVirus	<ol style="list-style-type: none">1 Norton AntiVirus を開きます ([スタート] > [すべてのプログラム] > [Norton AntiVirus] > [Norton AntiVirus])。2 [オプション] メニューをクリックしてから、Norton AntiVirus を選択します。3 [ステータス] ページで、インターネットワーム保護を選択します。4 プログラムのリストから Dell 4610X ワイヤレスプラスプロジェクトを検索し、選択します。5 その [インターネットアクセス] カラムを右クリックします。6 ポップアップメニューから [すべて許可] を選択します。7 OK をクリックします。

ファイアウォール 保護	設定	
Sygate パーソナル ファイアウォール		<ol style="list-style-type: none"> 1 Sygate パーソナルファイアウォールを開きます ([スタート] > [すべてのプログラム] > [Sygate] > [Sygate パーソナルファイアウォール])。 2 アプリケーションの実行 リストから、Dell 4610X ワイヤレスプラスプロジェクタを検索して右クリックします 3 ポップアップメニューから [許可] を選択します。
Windows ファイア ウォール		<ol style="list-style-type: none"> 1 Windows 機能を開きます ([スタート] > [すべてのプログラム] > [コントロールパネル])。 [Windows ファイアウォール] をダブルクリックします。 2 [全般] タブで、[例外を認めない] のチェックを外します。 3 [例外] タブで、[プログラムの追加] ボタンをクリックします。 4 プログラムのリストから Dell 4610X ワイヤレスプラスプロジェクタを検索し、選択したら、[OK] をクリックします。 5 [OK] をクリックして、例外設定を確認します。
ゾーンアラーム		<ol style="list-style-type: none"> 1 ゾーンアラームファイアウォールを開きます ([スタート] > [すべてのプログラム] > [ゾーンラボ] > [ゾーンラボセンター])。 2 [プログラム制御] ページで、リストから Dell 4610X ワイヤレスプラスプロジェクタを検索し、選択します。 3 その [アクセス - 信頼] カラムを右クリックします。 4 ポップアップメニューから [許可] を選択します。 5 [アクセス - インターネット]、[サーバー - 信頼]、および [サーバー - インターネット] カラムで [許可する] を右クリックし、選択します。

アプリケーショントークンの作成

[アプリケーショントークン]では、USB トークンを使用して [プラグおよび表示] を実行できます。

- 1 アプリケーションソフトウェアから、**目** > [アプリケーショントークンの作成] をクリックします。
- 2 次の画面が表示されます。[次へ] をクリックします。



- 3 コンピュータのUSB ポートのどれかにフラッシュドライブを差し込みます。リストからドライブを選択し、[次へ] をクリックします。



- 4 [終了] をクリックしてウィザードを閉じます。



プロジェクタのトラブルシューティング

プロジェクタに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください (Dell™ へのお問い合わせはページ 92 をご覧ください)。

問題

画面に画像が表示されない。



解決方法

- レンズキャップを外して、プロジェクタの電源が入っていることを確認します。
- 「入力選択」が OSD メニューで正しく設定されていることを確認します。
- 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。Dell™ ノートパソコンをご使用の場合は (Fn+F8) を押します。その他のコンピュータについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。コンピュータからくる出力信号が業界標準に従っていません。この場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードします。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。
- すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。9 ページの「プロジェクタの接続」をご覧ください。
- コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
- ランプがしっかりと取り付けられているかどうか確認してください (85 ページの「ランプの交換」をご覧ください)。
- **プレファレンスメニューのその他**を使ってください。テストパターンの色が正しいことを確認します。

入力ソースが見つかりません。特定の入力ソースに切り替えることができません。

[高度なソースの有効 / 無効] に進み、特定の入力ソースが [有効] に設定されていることを確認します。

問題 (続き)

画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない。

解決方法 (続き)

- 1 リモコンまたはコントロールパネルの**自動調整**ボタンを押します。
- 2 Dell™ ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度を XGA (1024 x 768) に設定します。
 - a Microsoft® Windows® デスクトップの空白部分を右クリックし、**プロパティ**をクリックし、**設定**タブを選択します。
 - b 外部モニターポートの設定が 1024 x 768 ピクセルになっていることを確認します。
 - c   (Fn+F8) を押します。

解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクトを再起動します。

Dell™ ノートパソコンをご使用でない場合は、コンピュータの取扱説明書をお読みください。コンピュータからくる出力信号が業界標準に従っていません。この場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードします。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。

画面にプレゼンテーションが表示されない。

ノートパソコンをお使いの場合は、  (Fn+F8) を押します。

画像が不安定、または、ちらつく。

OSD **表示** サブメニューでトラッキングを調整します (PC モードのみ)。

画像に縦線が入る。

OSD **表示** サブメニューで周波数を調整します (PC モードのみ)。

画像の色が正しくない。

- ディスプレイがグラフィックスカードから間違った信号出力を受信する場合は、OSD **表示** タブで信号の種類を RGB に設定してください。
 - **プレファレンス** メニューの**その他**を使ってください。テストパターンの色が正しいことを確認します。
-

問題 (続き)	解決方法 (続き)
画像の焦点が合わない。	<ol style="list-style-type: none"> 1 プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。 2 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します (120.09 cm [1.2 m] ~ 1,000.05 cm [10 m])。
16:9 DVD を表示すると画像が伸びる。	<p>プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。</p> <p>画像がそれでも伸びる場合、OSD の設定メニューで縦横比を調整してください。</p>
画像が反転する。	<p>OSD で 設定 を選択し、投影モードを調整します。</p>
ランプが切れた、または、音がする。	<p>ランプの寿命がなくなると、切れたり音がすることがあります。この場合は、プロジェクタの電源は入りません。ランプを交換するには、85 ページの「ランプの交換」を参照してください。</p>
ランプライトがオレンジ色で点灯	<p>ランプライトがオレンジ色で点灯する場合は、ランプを交換します。</p>
ランプライトがオレンジ色で点滅	<p>ランプのライトがオレンジ色に点滅する場合は、ランプモジュール接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。</p> <p>LAMP と Power LED がオレンジ色に点滅している場合はランプ ドライバが失効し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>ランプおよび温度ライトがオレンジ色で点滅し、電源ライトが青色で点灯する場合は、カラーホイールが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>保護モードを消去するには、[電源] ボタンを 10 秒間押し続けます。</p>
温度ライトがオレンジ色で点灯	<p>プロジェクタが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。</p>

問題 (続き)	解決方法 (続き)
温度 ライトがオレンジ色で点滅	プロジェクタのファンが故障し、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。 電源 ボタンを 10 秒間押し続けることで、プロジェクタモードを消去してみてください。5 分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。
OSD が画面に表示されない。	パネルにあるメニューボタンを 15 秒間押し、OSD のロックを解除します。ページ 45 で メニューロック を確認します。
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない。	電池の残量が少なくなっています。リモコンからのレーザービームが弱過ぎないか点検します。レーザービームが弱い場合は、新しい単 4 電池 2 本と交換します。

ガイド信号

プロジェクト ステータス	説明	コントロールボタン			インジケータ	
		電源	メ ニュー	その他	温度 (オレンジ色)	ランプ (オレンジ 色)
スタンバイ モード	スタンバイモードのプロジェクト。電源を入 れる準備ができました。	青色 点滅	オフ	オフ	オフ	オフ
ウォームアッ プモード	プロジェクトをウォームアップして電源を入 れるまでしばらく時間が掛かります。	青色	青色	青色	オフ	オフ
ランプ点灯	通常モードのプロジェクト。画像表示の準備 ができました。  メモ: OSD メニューにアクセスしていません。	青色	青色	オフ	オフ	オフ
冷却モード	プロジェクトは冷却してシャットダウンしま す。	青色	オフ	オフ	オフ	オフ
省電力モード	省電力モードが有効です。2 時間以内に入力 信号が検出されないと、プロジェクトは自動 的にスタンバイモードになります。	オレンジ色 点滅	オフ	オフ	オフ	オフ
省電力モード 前の冷却	プロジェクトは、省電力モードになる前に 60 秒間冷却します。	オレンジ色	オフ	オフ	オフ	オフ
プロジェクト が過熱	通気口が塞がれているか、周囲温度が 35 °C を超えていることが考えられます。プロジェ クタは自動的にシャットダウンします。通気 口が詰まっておらず、周囲温度が動作範囲内 にあることを確認します。問題が解消しない 場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オフ	オフ	オレンジ色	オフ
ランプが過熱	ランプが過熱しています。通気口が詰まっ ていることが考えられます。プロジェクトは自 動的にシャットダウンします。プロジェクト が冷却してからディスプレイの電源をもう一 度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	青色	オフ	オフ	オレンジ色	オフ
ランプドライ バが過熱	ランプドライバが過熱しています。通気口が 詰まっていることが考えられます。プロジェ クタは自動的にシャットダウンします。プロ ジェクトが冷却してからディスプレイの電源 をもう一度入れます。問題が解消しない場 合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色	オフ	オフ	オレンジ色	オフ
ファンが故障 しています	ファンの 1 つが故障しました。プロジェクト は自動的にシャットダウンします。問題が解 消しない場合は Dell までお問い合わせくだ さい。	オフ	オフ	オフ	オレンジ色 点滅	オフ
ランプドライ バが故障して います	ランプドライバが故障しました。プロジェ クタは自動的にシャットダウンします。3 分間 待ってから電源コードの接続を外し、ディ スプレイをもう一度オンにします。問題が解 消しない場合は Dell までお問い合わせくだ さい。	オレンジ色 点滅	オフ	オフ	オフ	オレンジ色 点滅
カラーホイ ールが故障して います	カラーホイールは始動しません。プロジェ クタが故障しました。プロジェクトは自動 的にシャットダウンします。3 分間待って 電源コードの接続を外し、次に、プロジェ クタをオンにします。問題が解消しない場 合は Dell までお問い合わせください。	青色	オフ	オフ	オレンジ色 点滅	オレンジ色 点滅

ランプが故障しています	ランプが故障しています。ランプを交換します。	オフ	オフ	オフ	オフ	オレンジ色
エラー - DC 供給 (+12V)	電源供給が中断されました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクトをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色 点滅	オフ	オフ	オレンジ色	オレンジ色
エラー - DC 供給 (二次)	電源供給が中断されました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクトをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色 点滅	オフ	オフ	オレンジ色	オフ
ランプモジュールの接続が失敗	ランプモジュールの接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オフ	オフ	オフ	オレンジ色 点滅

ランプの交換

⚠ 警告：この章で説明する交換処理の前に、ページ 7にある「安全上のご注意」をお読みください。

次のメッセージが表示されたら、ランプを交換してください。「ランプのフルパワー操作での耐用期間がもうすぐ終了します。交換をお勧めします。」

www.dell.com/lamps というメッセージが画面に表示されたら、ランプを交換しましょう。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。詳しくは、「Dell™ へのお問い合わせ」ページ 92 をご覧ください。

⚠ 警告：オリジナルのランプを使用して、プロジェクタの安全で最適な作業環境を確実にしてください。

⚠ 警告：ランプは使用中は大変熱くなります。ランプを交換する前に、少なくとも 30 分間プロジェクタを冷却します。

⚠ 警告：電球やランプのガラスには絶対に触れないでください。プロジェクタのランプは壊れやすく、触れると破損することがあります。破損した鋭いガラスの破片で怪我をすることがあります。

⚠ 警告：ランプが壊れた場合は、破片をすべてプロジェクタから取り除き、州や地域、国の法律に従って廃棄またはリサイクルしてください。詳しくは www.dell.com/hg をご覧ください。

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。
- 3 ランプカバーを固定している 2 本のネジを緩めてカバーを取り外します。
- 4 ランプを固定している 2 本のネジを緩めます。
- 5 金属製のハンドルを持ってランプを取り出します。

✍ メモ：Dell™ は、保証によって交換したランプの返却をお願いする場合がございます。その他の場合は、お近くのゴミ収集場所の住所について、お住まいの地域のゴミ処理担当機関までお問い合わせください。

- 6 新しいランプと交換します。
- 7 ランプを固定する 2 本のネジを締めます。
- 8 ランプカバーを元に戻して 2 本のネジを締めます。



9 OSD ランプタブにあるランプリセットで「はい」を選択して、ランプ使用時間をリセットします (ページ 41 の [ランプ] メニューを参照してください)。新しいランプモジュールを変更すると、プロジェクタはランプ時間を自動的に検出しリセットします。



警告：ランプの廃棄（米国のみ）

 当製品内部のランプには水銀が含まれています。お住まいの地域、州および国の規定に従って廃棄してください。詳しくは、**WWW.DELL.COM/HG**、または、《米》エレクトロニクス産業協議会のウェブサイト **WWW.EIAE.ORG** をご覧ください。ランプ別の廃棄方法については **WWW.LAMPRECYCLE.ORG** をご覧ください。

仕様

ライトバルブ	0.55" XGA DMD タイプ X, DarkChip2™
明るさ	3500 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比	2000:1 標準 (フルオン/フルオフ)
均質性	85% 標準 (日本規格 - JBMA (日本事務機械工業会))
画素数	1024 x 768 (XGA)
表示可能な色	16.7M 色
カラーホイール速度	2X
投影レンズ	F ストップ : F/ 2.4~2.66 焦点距離、f=18.2 ~ 21.8 mm 1.2 倍マニユアルズームレンズ 投影比 =1.6~1.92 ワイドおよび望遠
投影画面サイズ	30-307 インチ (対角線)
投影距離	3.94~32.81 ft (1.2 m~10 m)
ビデオ互換性	コンポジットビデオ / S ビデオ : NTSC (J, M, 4.43), PAL (B, D, G, H, I, M, N, Nc, 60), SECAM (B, D, G, K, K1, L) コンポーネントビデオ (VGA & HDMI 経由) 1080i/p, 720p, 576i/p, 480i/p
電力供給	ユニバーサル AC90-264 50/60 Hz、PFC 入力付き
消費電力	通常モード : 375W ± 10% @ 110Vac (ワイヤレスとネットワークオン) エコモード : 330W ± 10% @ 110Vac (ワイヤレスとネットワークオン) 省電力モード : <24W (ワイヤレスとネットワークオン、最低のファン速度) スタンバイモード : <12W ± 10% @ 110Vac (ワイヤレスとネットワークオン) < 1W (ワイヤレスとネットワークオフ)

オーディオ	2 スピーカ x 5 ワット RMS
ノイズレベル	35 dB(A) ノーマルモード、32 dB(A) エコモード
質量	6.55 ± 0.05 lbs (2.97 ± 0.02 kg)
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	286 x 110 x 247.8 mm

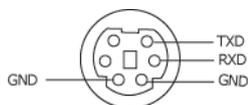


環境条件	<p>動作温度: 5°C ~ 35°C</p> <p>湿度: 80% 最大</p> <p>保管温度: 0°C ~ 60°C</p> <p>湿度: 90% 最大</p> <p>輸送温度 -20°C ~ 60°C</p> <p>湿度: 90% 最大</p>
I/O コネクタ	<p>電源: 1つの AC 電源ソケット (3 ピン - C14 インレット)</p> <p>VGA 入力 2つの 15 ピン D-sub コネクタ (青)、VGA-A & VGA-B (アナログ RGB/コンポーネント入力信号用)</p> <p>VGA 出力: 1つの 15 ピン D-sub コネクタ (黒) (VGA-A ループスルー用)。</p> <p>S ビデオ入力: 1つの標準 4 ピン ミニ -DIN S ビデオコネクタ (Y/C 信号用)。</p> <p>コンポジットビデオ入力: 1つの黄色 RCA ジャック (CVBS 信号用)</p> <p>HDMI 入力: 1つの HDMI コネクタ (HDMI 1.3 のサポート用)。HDCP 準拠。</p> <p>アナログオーディオ入力: 2つの 3.5mm ステレオミニ電話ジャック (青) & 1対の RCA コネクタ (赤/白)。</p> <p>可変オーディオ出力: 1つの 3.5mm ステレオミニ電話ジャック (緑)。</p>

	<p>USB ポート : リモートサポート用 USB スレーブ x 1。</p> <p>RS232 ポート : 1 つの mini-DIN 6 ピン (RS232 通信用)。</p> <p>RJ45 ポート : 1 つの RJ45 コネクタ (ネットワークを經由したプロジェクタの用コントロール用)</p> <p>12V 出力 : 1 つの 12V DC / 200mA 最大。リレースルーブット (自動画面の駆動用)。</p>
ワイヤレス	<p>ワイヤレス標準 : IEEE802.11b/g</p> <p>OS 環境 : Windows Vista/XP/2000, MAC OS X</p> <p>サポート : プレゼンテーションスライドとプロジェクタ制御。</p> <p>同時に 20 人までのユーザーに接続できます。</p> <p>4-to-1 分割画面。画面に 4 つのプレゼンテーションスライドを投射します。</p> <p>会議制御モード。</p>
ランプ	<p>Philips 280 ワットユーザ交換可能ランプ (エコモードで最大 2500 時間)</p>

 **メモ :** プロジェクタのランプ寿命定格は明るさの低下のみを測定し、ランプが故障し光の出力をやめるまでの時間を計る仕様ではありません。ランプの寿命は 50 パーセント以上のランプサンプル群が、指定されたランプに対して約 50 パーセントの定格ルーメンの明るさが減少するまでの時間として定義されます。ランプの寿命定格は、いかなる方法でも保証されません。プロジェクタランプの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件で、長時間プロジェクタを使用すると、ランプの動作寿命が短くなったり、ランプが故障する原因となります。

RS232 ピン割り当て



RS232 プロトコル

- 通信設定

接続設定	値
ボーレート :	19200
データビット :	8
パリティ	なし
ストップビット	1

- コマンドタイプ

OSD メニューをポップアップ表示して設定を調整します。

- 制御コマンド構文 (PC からプロジェクトへ)

[H][AC][SoP][CRC][ID][SoM][COMMAND]

- 例: 電源オンコマンド (ローバイトを最初に送信)

--> 0xBE, 0xEF, 0x10, 0x05, 0x00, 0xC6, 0xFF, 0x11, 0x11, 0x01, 0x00, 0x01

- 制御コマンドのリスト

最新の RS232 コードについては、次の Dell Support サイトをごらんください：
support.dell.com

互換モード (アナログ / デジタル)

解像度	リフレッシュ レート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル・ クロック (MHz)
640 x 350	70.087	31.469	25.175
640 x 480	59.940	31.469	25.175
640 x 480 p60	59.940	31.469	25.175
720 x 480 p60	59.940	31.469	27.000
720 x 576 p50	50.000	31.250	27.000
720 x 400	70.087	31.469	28.322
640 x 480	75.000	37.500	31.500
848 x 480	60.000	31.020	33.750
640 x 480	85.008	43.269	36.000
800 x 600	60.317	37.879	40.000
800 x 600	75.000	46.875	49.500
800 x 600	85.061	53.674	56.250
1024 x 768	60.004	48.363	65.000
1280 x 720 p50	50.000	37.500	74.250
1280 x 720 p60	60.000	45.000	74.250
1920 x 1080 i50	50.000	28.125	74.250
1920 x 1080 i60	60.000	33.750	74.250
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
1024 x 768	75.029	60.023	78.750
1280 x 800	59.810	49.702	83.500
1366 x 768	59.790	47.712	85.500
1360 x 768	60.015	47.712	85.500
1024 x 768	84.997	68.677	94.500
1440 x 900	59.887	55.935	106.500
1152 x 864	75.000	67.500	108.000
1280 x 960	60.000	60.000	108.000
1280 x 1024	60.020	63.981	108.000
1152 x 864	85.000	77.095	119.651
1400 x 1050	59.978	65.317	121.750
1280 X 800	84.880	71.554	122.500
1280 x 1024	75.025	79.976	135.000
1440 X 900	74.984	70.635	136.750
1680 x 1050	59.954	65.290	146.250
1280 x 960	85.002	85.938	148.500
1920 x 1080	60.000	67.500	148.500
1400 X 1050	74.867	82.278	156.000
1280 x 1024	85.024	91.146	157.000
1440 X 900	84.842	80.430	157.000
1600 x 1200	60.000	75.000	162.000

Dell へのお問い合わせ

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。

 **メモ:** インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、または Dell 製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

Dell™ では、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関する Dell へのお問い合わせ：

- 1 support.dell.com をご覧ください。
- 2 ページ下部の Choose A Country/Region [国 / 地域の選択] ドロップダウンメニューで、居住する国または地域を確認します。
- 3 ページ左側の Contact Us [連絡先] をクリックします。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。
- 5 Dell への連絡方法を選択します。

付録：用語集

ANSI ルーメン— 明るさの単位です。1 平方メートルの画像を、9 つの同じ長方形に分割し、各長方形の中心のルクス（または明るさ）を測定して、9 つの点の平均値を求めて算出します。

縦横比— 最も一般的な縦横比は 4:3 (4 x 3) です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式は 4:3 縦横比です。つまり、画像の幅は画像の高さの 4/3 倍になります。

明るさ— ディスプレイや投影ディスプレイ、または投影デバイスから発する光の量です。プロジェクタの明るさは ANSI ルーメンで表されます。

色温度— 白光の色を表します。色温度が低いほど暖色（黄色または赤みが強い）であることを意味し、色温度が高いほど寒色（青みが強い）を意味します。色温度の標準単位はケルビン（K）です。

コンポーネントビデオ— 高品質のビデオを伝送する方法です。ルミナンス信号と 2 つの独立したクロミナンス信号から成り、アナログコンポーネントでは Y'Pb'Pr'、デジタルコンポーネントでは Y'Cb'Cr' と定義されます。コンポーネントビデオは DVD プレーヤーで使用できます。

コンジットビデオ— ルーマ（明るさ）、クロマ（色）、バースト（色参照）、シンク（水平および垂直同期化信号）を 1 つのワイヤペアで伝送される 1 つの波形に統合するビデオ信号です。NTSC、PAL、SECAM の 3 つの形式があります。

圧縮解像度— 入力画像の解像度がプロジェクタのネイティブ解像度よりも高い場合に、画像をプロジェクタのネイティブ解像度に合わせて圧縮します。デジタルデバイスで圧縮すると画像コンテンツの一部が失われます。

コントラスト比— 画像の明るさの値と暗さの値の範囲、または、最大値と最小値の比率。プロジェクタ業界では 2 つのコントラスト比の測定方法が使われています。

- 1 フルオン/ オフ— 完全に白い画像（フルオン）の光出力と完全に黒い画像（フルオフ）の光出力の比率を測定します。
- 2 ANSI— 16 の交互に並んだ黒と白の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、ANSI コントラスト比を算出します。

同じプロジェクタでは、フルオン/ オフコントラストは ANSI コントラストよりも大きい値になります。

dB— デジベル — 通常は聴覚または電子信号の間で電力と強度の相対差異を表す単位で、2 レベルの比率の常用対数の 10 倍に相当します。

対角画面 — 画面サイズまたは投影画像のサイズを測定する方法です。1 つの角から対角線上の角までを測定します。9FT 高さ、12FT 幅の画面の対角線は 15FT です。この文書では、上の例のように、対角寸法はコンピュータ画像の従来の 4:3 の比率用とみなします。

DHCP— 動的ホスト構成プロトコル — サーバを有効にするネットワークプロトコルは TCP/IP アドレスをデバイスに自動的に割り当てます。

DLP[®]— Digital Light Processing™ (デジタル光処理) — Texas Instruments 社が開発した反射型ディスプレイ技術、小型操作ミラーを使用。光がカラーフィルターを通して DLP ミラーへ伝送されます。DLP ミラーが RGB 色を画面に投影される画像に配色します。DMD とも呼ばれます。

DMD— digital Micro- Mirror Device— 各 DMD には数千の傾斜角、微小なアルミ合金ミラーが隠れたヨークに搭載されています。

DNS— **ドメイン名システム** — ドメイン名を IP アドレスに翻訳するインターネットサービス。

焦点距離 — レンズの表面からその焦点までの距離。

周波数 — 電気信号の 1 秒当たりの周期の繰返し速度です。単位は Hz (ヘルツ) です。

HDCP — 広帯域デジタルコンテンツ保護 — DVI、HDMI などのデジタルインターフェイスを使いデジタルエンタテインメントを保護するために、Intel[®] が開発した仕様です。

HDMI — High Definition Multimedia Interface (ハイデフィニション・マルチメディア・インターフェース) — HDMI は、デジタルオーディオ付きの未圧縮の高解像度ビデオとデバイスコントロールデータを 1 つのコネクタで伝送します。

Hz (ヘルツ) — 周波数の単位。

IEEE802.11 — ワイヤレス LAN (WLAN) 通信用の標準セット。802.11b/g は 2.4GHz 帯域を使用します。

キーストーン補正 — プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投影画像の歪み (通常、上部が広く下部が細くなる現象) を修正するデバイスです。

最大距離 — プロジェクタが、完全に暗い部屋で使用可能な (十分に明るい) 画像を投影できる画面からの距離。

最大画像サイズ — 暗い部屋でプロジェクタが投影できる最大画像サイズ。通常、光学部品の焦点範囲によって制限されます。

最小距離 — プロジェクタが画面上で画像の焦点を合わせることのできる最小距離。

NTSC— National Television Standards Committee (全米テレビ放送規格委員会)。ビデオおよび放送用の北米規格、525 ライン・30 フレーム毎秒のビデオ形式。

PAL— Phase Alternating Line (走査線位相反転)。ビデオおよび放送用の欧州放送

規格。625 ライン・25 フレーム毎秒のビデオ形式。

画像の反転— 画像を水平に反転する機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像などは後ろ向きになります。画像の反転は背面投射で使います。

RGB— Red, Green, Blue (赤、緑、青) — 3色それぞれに別々の信号を必要とするモニターを指します。

S ビデオ— 4 ピンの小型 DIN コネクタを使って、ルミナンス (明るさ、Y) とクロミナンス (色、C) と呼ばれる 2 本の信号ワイヤでビデオ情報を送信するビデオ伝送方法です。S ビデオは Y/C とも呼ばれます。

SECAM— ビデオおよび放送用のフランスおよび国際的な放送規格、PAL に大変似ていますが、色情報の伝送方法が異なります。

SSID— サービスセット ID — ユーザーが接続を希望する特定のワイヤレス LAN を識別するために使用される名前。

SVGA— Super Video Graphics Array (スーパービデオグラフィックスアレイ) — 800 x 600 ピクセル。

SXGA— Super Extended Graphics Array (スーパー拡張グラフィックスアレイ) — 1280 x 1024 ピクセル。

UXGA— Ultra Extended Graphics Array (超拡張グラフィックスアレイ) — 1600 x 1200 ピクセル。

VGA— Video Graphics Array (ビデオグラフィックスアレイ) — 640 x 480 ピクセル。

WEP— 有線と同等なプライバシー — これは、通信データを暗号化するための方法です。暗号化キーは通信されるユーザーに対してのみ作成され通知されるため、通信データが第三者により復号化されることはありません。

XGA— Extended Video Graphics Array (拡張ビデオグラフィックスアレイ) — 1024 x 768 ピクセル。

ズームレンズ— 可変式焦点距離のレンズで、画像を縮小したり拡大して表示できます。

ズームレンズ比— レンズが固定距離から投影できる最小画像と最大画像の比率です。例えば、1.4:1 ズームレンズ比とは、ズームなしの 10 フィート画像が、フルズームでは 14 フィートになることを意味します。

索引

D

DC アダプタ 9

Dell への

お問い合わせ 92

Dell へのお問い合わせ 6, 81, 85

H

HDMI 9

R

RJ45 9

あ

オーディオ -B 9

オーディオ -C 9

オーディオ設定 46

オーディオ入力 46

オンスクリーンディスプレイ 34

その他 44

ピクチャ (PC モード) 36

ピクチャ (ビデオモード) 37

メインメニュー 34

ランプ 41

自動調整 36

設定 41

入力選択 35

表示 (PC モード) 38

表示 (ビデオモード) 40

か

クイックシャットダウン 46

クローズドキャプション 49

コントロールパネル 27

さ

サポート

Dell へのお問い合わせ 92

スクリーン 45

スクリーンキャプチャ 45

スクリーン設定 45

スピーカー 46

セキュリティ設定 47

仕様

I/O コネクタ 88

RS232 プロトコル 90

オーディオ 88

カラーホイール速度 87

コントラスト比 87

ノイズレベル 88

ビデオ互換性 87

ライトバルブ 87

画素数 87

環境条件 88

均質性 87

質量 88
消費電力 87
寸法 88
電力供給 87
投影レンズ 87
投影画面サイズ 87
投影距離 87
表示可能な色 87
明るさ 87

消音 46

省電力 46

接続ポート

RS232 コネクタ 9
S ビデオコネクタ 9
USB リモートコネクタ 9
VGA-A 出力 (モニターループスルー) 9
VGA-A 入力 (D サブ) コネクタ 9
VGA-B 入力 (D サブ) コネクタ 9
オーディオ出力コネクタ 9
オーディオ入力コネクタ 9
コンポジットビデオコネクタ 9
セキュリティケーブルスロット 9
電源コードコネクタ 9

た

テストパターン 50

トラブルシューティング 79
Dell へのお問い合わせ 79

電源設定 46

電話番号 92

投影画像の調整 23

プロジェクタの高さ調整 23
プロジェクタを下げる
エレベーターフット 23
エレベーターボタン 23
傾斜調整ホイール 23

は

パスワード 47

プロジェクタのズームとフォーカスの調整 24

ズームタブ 24
フォーカスリング 24

プロジェクタの接続

HDMI ケーブル 18, 19, 21
HDMI ケーブルでの接続 18
RS232 ケーブル 13
RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続 13
S ビデオケーブル 15
S ビデオケーブルでの接続 15
USB - USB ケーブル 11
VGA - VGA ケーブル 11, 12
VGA - YPbPr ケーブル 17
コンピュータへ 11
コンポーネントケーブルでの接続 17
コンポジットケーブルでの接続 16
コンポジットビデオケーブル 16
電源コード 11, 12, 13, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21

プロジェクタの電源を入れる /
切る
 プロジェクタの電源を切る 22
 プロジェクタの電源を入れる 22

ボリューム 46

本体 7

 IR レシーバ 7
 エレベーターボタン 7
 コントロールパネル 7
 ズームタブ 7
 フォーカスリング 7
 レンズ 7

ま

メニュータイムアウト 44

メニューの透明度 44

メニュー位置 44

メニュー設定 44

ら

ランプの交換 85

リセット 45

リセット、出荷時 50

リモコン 29

 IR レシーバ 28